FreeSpace® DXA2120 Digital Mixer/Amplifier

Owner's Guide

DXA2120取扱説明書

※説明の便宜上、イラストは実物と異なる場合があります。

BOSE

安全上の留意項目

ご使用前に、下記の「留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです（左図の場合は分解禁止を意味します）。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

●異常が発生したとき

⚠ 警告

内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く
そのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に点検をご依頼ください。特にお子様がいるご家庭ではご注意ください。

変なにおいや音がしたときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く
そのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。

電源コードや電源プラグが傷んだ場合は交換する
電源コードや電源プラグが傷んだ状態（芯線の露出、断線、変形など）で使用すると、火災や感電の原因となります。販売店に交換をご依頼ください。

落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く
そのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に点検をご依頼ください。

●設置、保管するとき

⚠ 警告

水の近くまたは湿度の高い場所で使用しない
機器内部に水が入った場合、火災や感電の原因となります。

通風孔をふさがない
布をかぶせたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、通気が不十分な狭いスペースに押し込んだりしないでください。本体内部に熱がこもり、火災の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、発熱による感電や火災の原因となります。また、ほこりがたまり易くなったり、プラグの金属部分に触れる危険性があります。

電源コードを傷付けない
電源コードを傷付けたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したり、上に重い物を乗せたりしないでください。ケーブルが破損して、火災や感電の原因となります。特に、電源プラグ部分やコードが本体から出ている部分はお気を付けください。

電源コードは付属の専用品を使用する
専用電源コード以外の使用は、火災や感電の原因となります。また、本機の専用電源コードを他の機器に使うこともお止めください。

タコ足配線をしない
コンセントや配線器具に同時に多数の機器を接続して電源を取ると、コードなどが過熱し、火災の原因となります。

アース（接地）を確実に行う
万一漏電した場合、感電する原因となります。アース工事につきましては、販売店にご相談ください。

配線および取付は、取扱説明書に記載してある通りに行う
配線および取付は、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線、取付を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。

●設置、保管するとき

⚠ 警告

火災や感電の危険性を低減するために、機器を雨や湿気にさらさない

機器内部に水をたらしたり、かけたり、花びんのように水を満たしたものをそばに置かない
他の電気製品と同様に、機器内部に水分をこぼしたりしないでください。故障や火災の原因となります。

本機の上や周囲に、小さな金属物を置かない
通風孔などから内部に落下した場合、火災や感電の原因となります。

風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所には置かない
機器内部に水が入った場合、火災や感電の原因となります。

交流 100 ボルトの電源を使用する
海外などで、表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外で使用すると、火災や感電の原因となります。

電源プラグは、抜き易い位置にあるコンセントに接続する
万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。

電源コンセントの定格電流値を超える接続をしない
過大な電流が流れ、火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

設置作業は専門業者へ
設置に関しては、専門の業者にご依頼ください。

高温の場所に置かない
窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所、熱源のそばなど、温度が異常に高くなる場所に機器を設置・保管しないでください。過熱や部品の変形などにより、火災や感電の原因となることがあります。

ケーブルの芯線は全てしっかりと撚りを掛けた上で、確実にコネクター内へ結線する
撚り線の一本が外れるなどして隣り合った端子に接触すると、ショート事故が起こる危険性があります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない
火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときに、電源コードを引っ張らない
電源コードが傷付き、火災や感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

移動させる場合は、電源コードその他の接続線を外す
電源コードに無理な力が加わって傷付き、火災や感電の原因となることがあります。また他の接続線が引っかかり、けがの原因となることがあります。

Safety Information

●使用するとき

⚠ 警告

不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いた所、振動する所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや事故の原因となります。

雷が鳴り出したら、本体やケーブル類に触れない
感電の原因となります。

本体のカバーを外したり、分解や改造をしない
火災や感電、けがの原因となります。内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

機器のそばに、ろうそく等の火がついているものを置かない
引火して火災の原因となります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となります。

●使用するとき

⚠ 注意

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く
本機は電源を切った状態でも、常に微弱な電流が流れています。長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

本機をラックに設置した状態でラックごと移送する場合は、本機の背面部分を物理的に固定する
棚板やサポートアングル金具等を使用して本機をラック内に固定することをお勧めします。

定期的に内部の掃除をする
5 年に一度程度を目安に、機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま長時間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

上に重い物を置かない
倒れたり、落下した場合、けがの原因となることがあります。

電源プラグやコンセント部の掃除をする
電源プラグを差してあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。

配線時は電源プラグをコンセントから抜く
電源プラグをコンセントに差したまま行うと、感電の原因となることがあります。

CAUTION

感電事故の危険あり
絶対に開けないでください

ご注意：お客様が修理できる部品は、製品内部にはございませんので、感電事故防止のため、本体や背面パネルは絶対に開けないでください。修理が必要な場合は、お買上になったお店かボーズ株式会社までご連絡ください。

⚠注意：完全に奥まで差し込めないコンセントは、感電の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

CAUTION

RISK OF ELECTRICAL SHOCK
DO NOT OPEN

CAUTION: TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK,DO NOT REMOVE COVER (OR BACK).NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE.REFER SERVICING TO QUALIFIED PERSONNEL.

⚠ CAUTION: To prevent electric shock, match wide blade of power plug to wide slot, insert fully.

These CAUTION marks are located on the back of your FreeSpace® DXA2120 Digital Mixer/Amplifier.

The lightning flash with arrowhead symbol, within an equilateral triangle, is intended to alert the user to the presence of uninsulated dangerous voltage within the system enclosure that may be of sufficient magnitude to constitute a risk of electric shock.

The exclamation point within an equilateral triangle, as marked on the system, is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance instructions in this owner’s guide.

お客様メモ
後日修理等の必要が発生したときのためにご記入しておくことをお薦めいたします。

シリアル番号 (serial number): _____

ご購入日： _____ **ご購入店名：** _____

Contents

安全上の留意項目 2
特長 5
付属品 6
お手入れについて 6
各部の名称（前面パネル） 7
各部の名称（背面パネル） 8
使用上の注意と設置 9
結線について 10
電源の接続 12
動作モードについて 13
1.Mixer Mode ミキサーモード 13
2.Stereo Select Mode ステレオセレクトモード 14
3.DualMono Select Mode デュアルモノセレクトモード 15
システムセットアップについて 16
ミキサーモード設定 17
ステレオセレクトモード設定 22
デュアルモノセレクトモード設定 26
ユーティリティモードの設定 30
専用ボリュームコントローラーDXA VC、DXA VC-AB（別売り）について 31
専用ボリュームコントローラーの結線について 32
接続ケーブルについて 32
6端子ユーロブロックコネクターへの結線 33
故障かなと思ったら? 34
仕様 35
保証 36
修理について 36
寸法図 36
初期（工場出荷時）設定 37
ブロック図 38
BOSEスピーカーEQリスト 39

Introduction

FreeSpace® DXA2120をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機は、2系統パワーアンプ、シグナルプロセッシング、ミキシング ルーティング、ページングなど、商業施設の音響設備に求められるさまざまな機能を1台のユニットに集約した、FreeSpace® シリーズの多機能デジタルミキサーアンプです。

特 長

●4系統のマイク/ライン入力、1系統のページング入力、1系統のダイレクト入力を装備

(マイク/ライン入力はRCA端子およびユーロブロック端子をそれぞれ装備。)

●2系統のパワーアンプはハイインピーダンス / ローインピーダンスいずれの使用にも対応

・ 120W +120W (4Ω)
・ 100W +100W (70/100V)

●外部増設アンプなどシステムの拡張も可能なラインアウト端子 (AUX OUTPUT) 装備

● 3つの動作モード (ミキサーモード、ステレオセレクトモード、デュアルモノセレクトモード) による、自由度の高い柔軟なシステムプランの実現

・ ミキサーモード (Mixer Mode)
INPUT1〜4の入力をミックスして、OUTPUT1、2および、AUX OUTPUTの各出力へ割当てます。

・ ステレオセレクトモード (Stereo Select Mode)
ステレオ2系統の入力 (INPUT1、3: Lch / INPUT2、4: Rch) から、それぞれOUTPUT1へLchを、OUTPUT2へRchを割り当てます。1つのゾーンでステレオ機器2系統をセレクトして再生したい場合に最適です。

・ デュアルモノセレクトモード (DualMono Select Mode)
INPUT1、2の入力をOUTPUT1へ、INPUT3、4の入力をOUTPUT2へ割り当てます。2つのゾーンで、それぞれ2系統の音源をセレクトして再生したい場合に最適です。

●Bose Opti-voice®機能によるスムーズなページング

●BOSEスピーカーEQ、Dynamic EQを備えたDSPを搭載

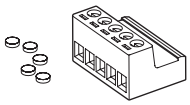
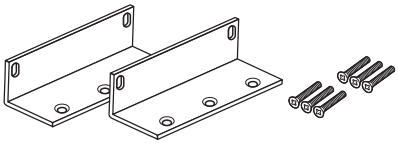
●AGC (オートゲインコントロール) 搭載

マイクロホンなどで、低いレベルの信号入力があった時、自動的に音量を補正します。

●ルームイコライゼーション装備

高音域と低音域を調整して、各ゾーンの音のバランスを簡単に調整することができます。

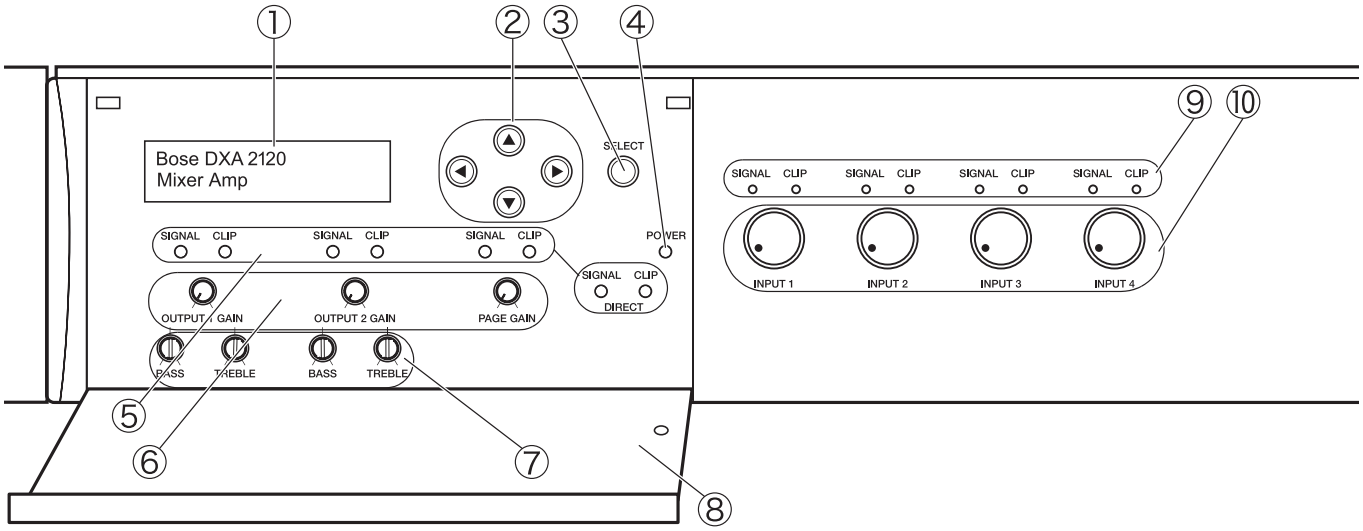
付属品

	3端子ユーロブロックコネクター×5 MIC/LINE INPUT/AUX OUTPUT用コネクター
	4端子ユーロブロックコネクター×2 PAGE INPUT用、DIRECT INPUT用コネクター
	6端子ユーロブロックコネクター×1 REMOTE用コネクター
	5端子ユーロブロックコネクター （ショート防止ネジキャップ付）×2 OUTPUT1、OUTPUT2用コネクター
	ゴム足×4
	ラックマウント用取付金具×2セット

お手入れについて

パネルやケースは、ときどき柔らかい布でからぶきしてください。シンナー、ベンジン、アルコール、化学薬品を使用すると表面が侵されたり文字が消えたり外装ムラになることがありますから絶対に使わないでください。また、スプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないようにご注意ください。

各部の名称（前面パネル）



①表示部
各種メニューや設定内容を表示

②ARROW（矢印）ボタン
各種メニューや設定項目を移動、選択

③SELECT（セレクト）ボタン
各種設定内容を決定

④電源インジケーター
ON時：青、OFF時：消灯

⑤SIGNAL（シグナル）インジケーター、CLIP（クリップ）インジケーター
OUTPUT1、OUTPUT2、PAGE、DIRECTの各状態を表示

・SIGNAL（シグナル）インジケーター
　消灯時：入力なし
　点灯時：入力あり

・CLIP（クリップ）インジケーター
　消灯時：定格以内
　点灯時：過大入力

⑥GAIN（ゲイン）調整つまみ
OUTPUT1、OUTPUT2、PAGEの各出力ゲインを調整
※注意：専用ボリュームコントローラー（DXA VC、DXA VC-AB）使用時は無効となります。

⑦BASS、TREBLEつまみ
Bass、Trebleの調整

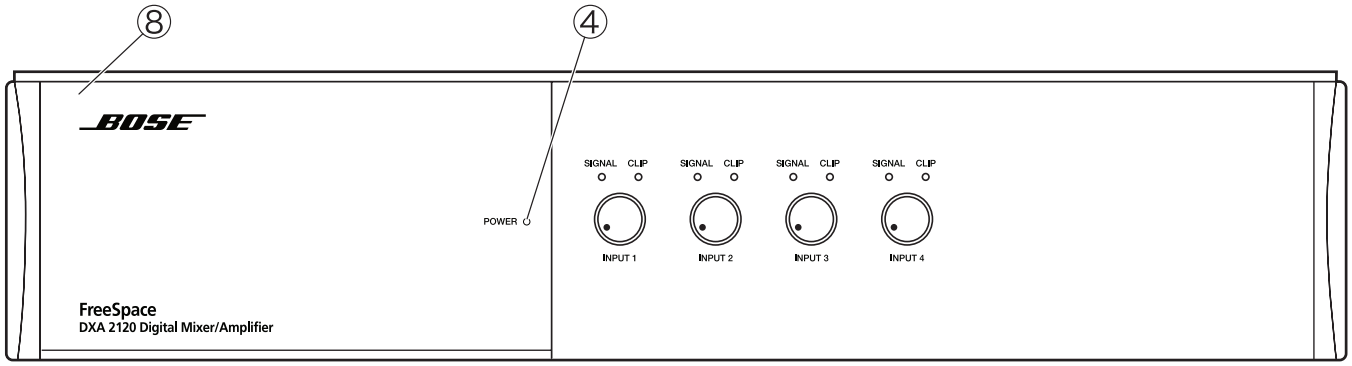
⑧カバー

⑨SIGNAL（シグナル）インジケーター、CLIP（クリップ）インジケーター
INPUT1～4の各状態を表示

・シグナルインジケーター
　消灯時：入力なし
　点灯時：入力あり

・CLIPインジケーター
　消灯時：定格以内
　点灯時：過大入力

⑩入力ゲイン調整つまみ
INPUT1～4の各入力ゲインを調整

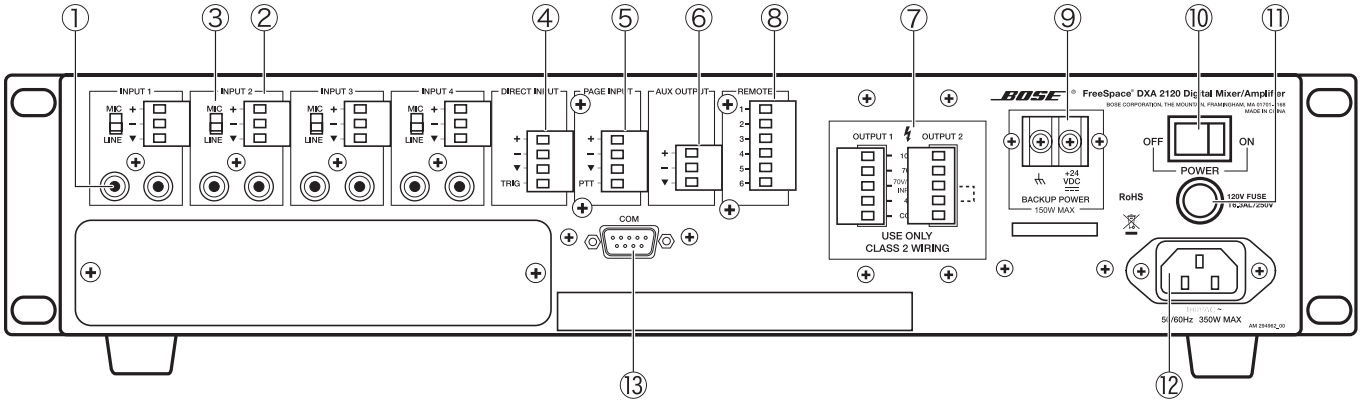


⑧カバー
各種設定を変更する場合はこのカバーを開けて操作します。

④電源インジケーター
ON時：青
OFF時：消灯

Hardware Description

各部の名称（背面パネル）



① LINE（ライン）入力
INPUT1～4 RCAピン
※モノミックスされます。

② マイク/ライン入力
INPUT1～4 3端子ユーロブロック

③ MIC/LINE（マイク/ライン）切替スイッチ
②のユーロブロック端子使用時、入力レベルにあわせて切り替えます。

④ DIRECT INPUT（ダイレクト入力）
4端子ユーロブロック
ダイレクト入力にマイク/ライン信号が入ると、他の全ての入力より優先されて出力されます。

⑤ PAGE INPUT（ページング入力）
4端子ユーロブロック
ページング用マイク（案内放送用など）を接続します。

⑥ AUX OUTPUT（AUX出力）
3端子ユーロブロック、外部アンプ等増設用に使用します。

⑦ OUTPUT1、OUTPUT2（スピーカー出力端子）
5端子ユーロブロック
※ハイインピーダンス(70/100V)伝送時は必ずジャンパー処理する必要があります(12ページ参照)。

⑧ REMOTE（専用ボリュームコントローラー接続端子）
6端子ユーロブロック
DXA VC、DXA VC-AB接続用端子

⑨ BACKUP POWER（DC24Vバックアップ電源接続用端子）
最大入力150W

⑩ POWER（電源スイッチ）

⑪ FUSE（電源ヒューズ）T6.3AL/250V

⑫ AC電源ジャック

⑬ COM
システムアップデート用RS-232シリアルポート（使用しません）

Hardware Installation

使用上の注意と設置

熱対策について
本機は側面から空気を取り込み、背面から排出する仕組みになっています。ラックマウント時や、棚設置などの際はこれらの口をふさがないように注意し、空気が循環するように設置してください。また、ラックマウントして使用する場合も放熱のためのスペーサーは必要なく、密着して設置することができますが、他社のアンプの中には、冷却用の空気を天面や底面あるいは背面から取り入れるものがありますので、他社のアンプと組み合わせてラックマウントする場合は、冷却用の空気の流れがお互いに干渉しないようにご注意ください。
また、本機を暖房機器の上や直接温風が当たるようなところなど、温度が高くなる場所へ設置しないでください。

磁気漏洩について
本機から漏洩する磁気は問題の起きないレベルですが、一般的にもマイクロフォンのインプット・トランスや磁気を使用した記録媒体など感度の高いものは近づけないことをお薦めいたします。

棚やテーブルなどに置いて使用する場合
設置する場所が本機の重量に十分耐えられることを確認してください。ぐらついていたり、平らでない場所には絶対設置しないでください。設置する場合は、付属のゴム足を底面に取り付けて水平でしっかりとした棚やテーブルの上に設置してください。

● ゴム足の取り付け方
静かに本機の底面を上にして、4箇所のゴム足取り付け穴に付属のゴム足を差し込み、中央のロックピンをねじ回しの先などで奥まで押し込みます。

● ゴム足の外し方
ねじ回しで中央部分を反時計回りに回すと外すことができます。

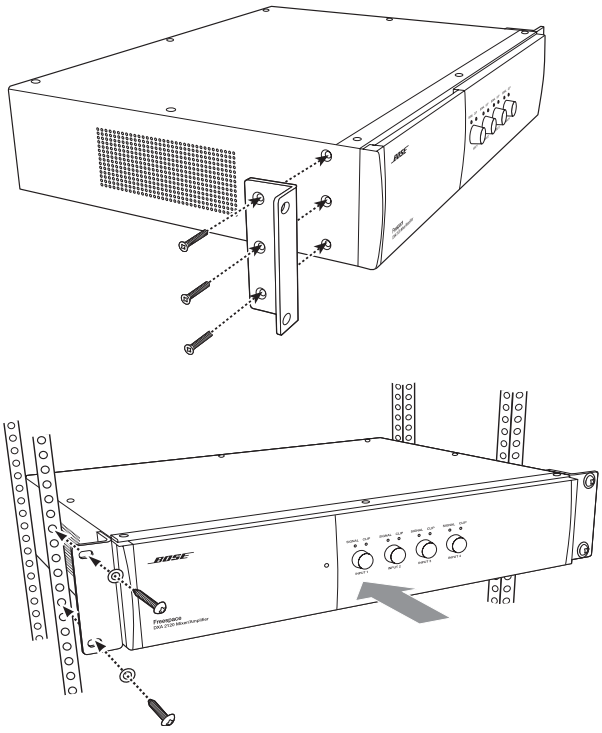
● ゴム足について
- ゴム足は素材の性質から、設置面の塗料によっては、移行または汚染を示す可能性あります。事前にご確認のうえご使用ください。
- 付属のゴム足は高摩擦性を有している分、塗装面との接触面に密着しやすい性質を持っております。接触面の一部を剥がしてしまう可能性も有りますので、事前にご確認のうえご使用ください。

ラックマウントについて
ラックマウントする場合は、高さ2U (EIA 規格) 、奥行き41cmのスペースを必要とします。

1. 本体にラックマウント用取付金具を図のように付属のネジでしっかり固定します。
2. フロントパネルを4本のネジでしっかり止めてください。

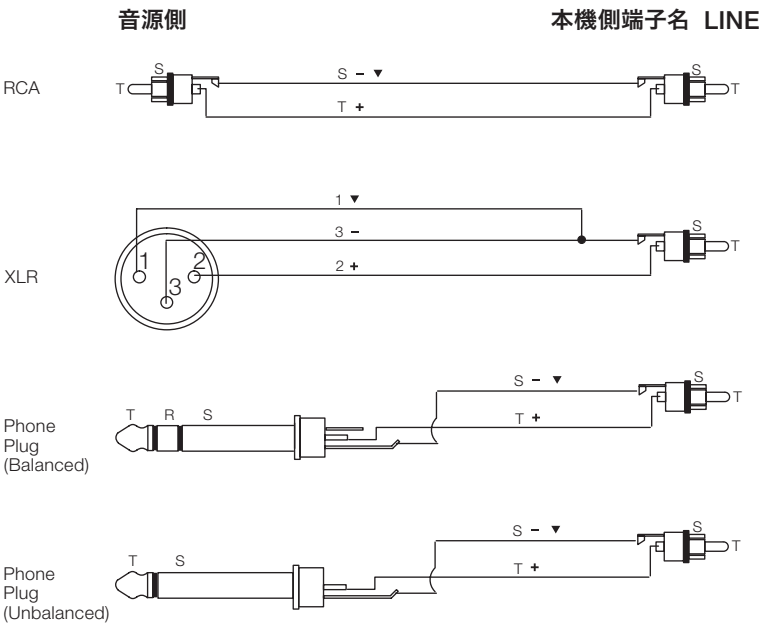
※ラックに固定するためのネジは付属しておりません。別途用意してください。

注意 : ラックマウント時のリアサポートについて
製品をラックマウントした状態で輸送する場合は、必ずパワーアンプの背面部に、他の機器も必要とするようにサポート金具を別途用意することをおすすめします。

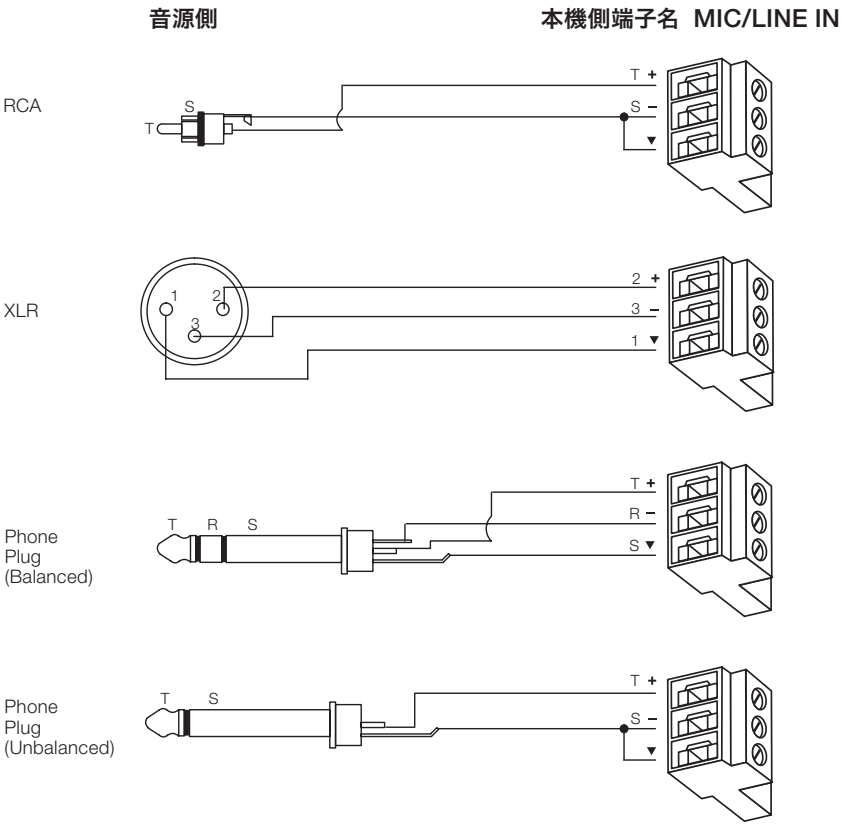


結線について

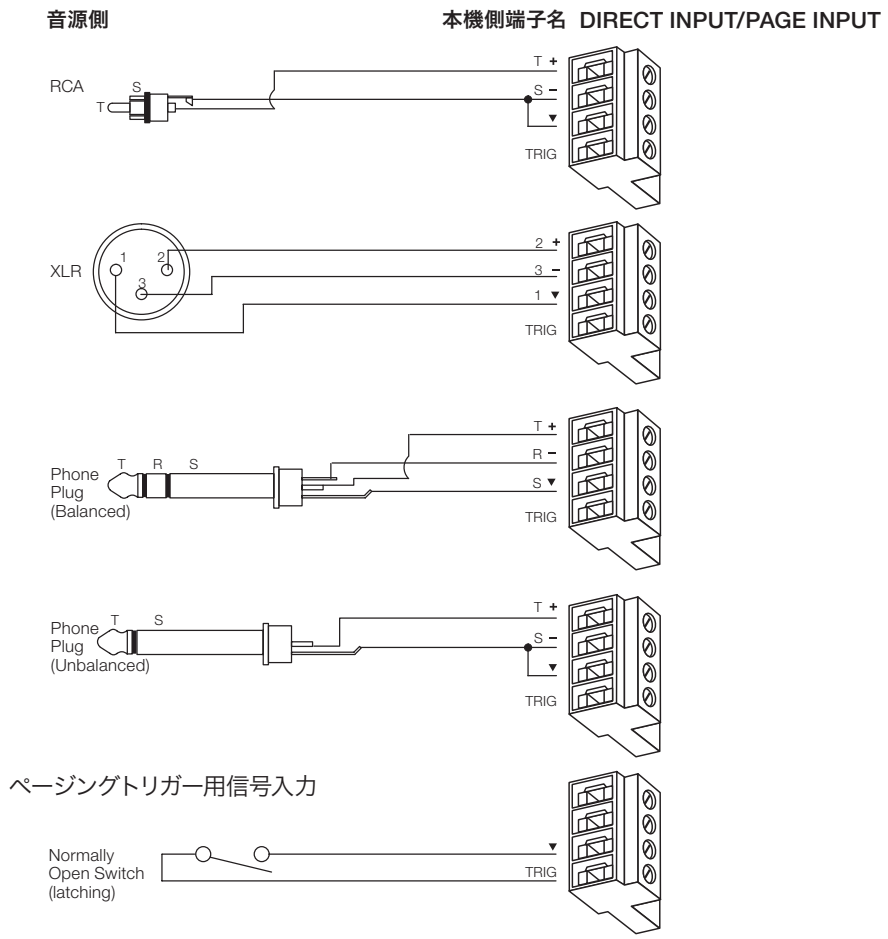
背面RCAピンジャックへの結線



3端子ユーロブロックコネクタへの結線



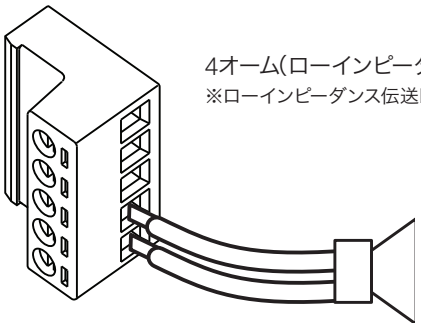
4端子ユーロブロックコネクターへの結線



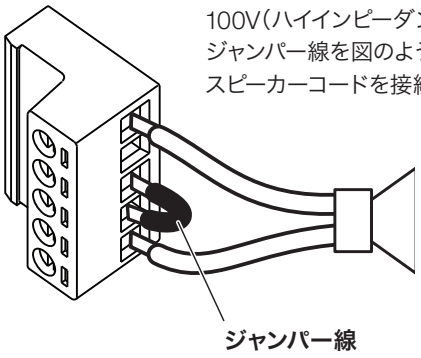
5端子ユーロブロックコネクター（スピーカー出力）への結線

5端子ユーロブロックコネクターにスピーカーケーブルを接続します。ハイインピーダンス（70/100V）伝送時は、ジャンパー線が必要になります（70V/100V INPUT⇔4Ω端子間）。0.5mm^2～4mm^2（AWG12～20相当）のコードでジャンパー線を別途用意して接続してください。

OUTPUT1/2

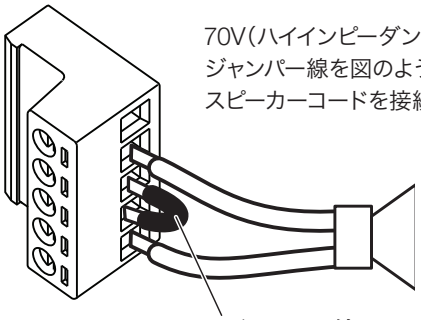


4オーム（ローインピーダンス）接続
※ローインピーダンス伝送時はジャンパー線は必要はありません。



100V（ハイインピーダンス）接続
ジャンパー線を図のように接続して、
スピーカーコードを接続します。

ジャンパー線



70V（ハイインピーダンス）接続
ジャンパー線を図のように接続して、
スピーカーコードを接続します。

ジャンパー線

※OUTPUT1、OUTPUT2別々の伝送方式に設定して使用できます。スピーカー出力端子のOUTPUT1をハイインピーダンス伝送で、OUTPUT2をローインピーダンスに伝送するといった組み合わせ使用も可能です。

注意：スピーカーコード接続時の注意
スピーカー出力端子（OUTPUT1、OUTPUT2）にスピーカーコードを結線する際は、コードの芯線同士が触れてショートしないよう注意してください。音が突然出なくなる、または表示部に右記の表示がされる場合は、スピーカーコードがショートし、アンプ内部の保護回路が働いている場合があります。

```
Amp Fault!
```

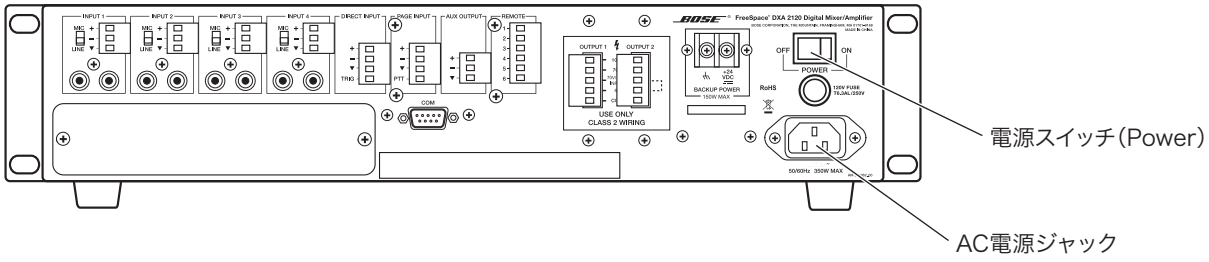
6端子ユーロブロックコネクター（専用ボリュームコントローラー）への結線

REMOTE入力端子への接続と説明は、31～33ページ「専用ボリュームコントローラーDXA VC、DXA VC-ABについて」を参照してください。

電源の接続

交流100V電源の接続

コンセントの根元までしっかりプラグを差し込んでください。



直流電源接続

停電など、100V 交流（AC）電源の供給が止まってしまう場合に備えて、+24V（DC）バッテリーで稼動させることができます。 ただし、+24V（DC）で稼動しているときは、出力が大幅に下がります。

Operation Mode Options

動作モードについて

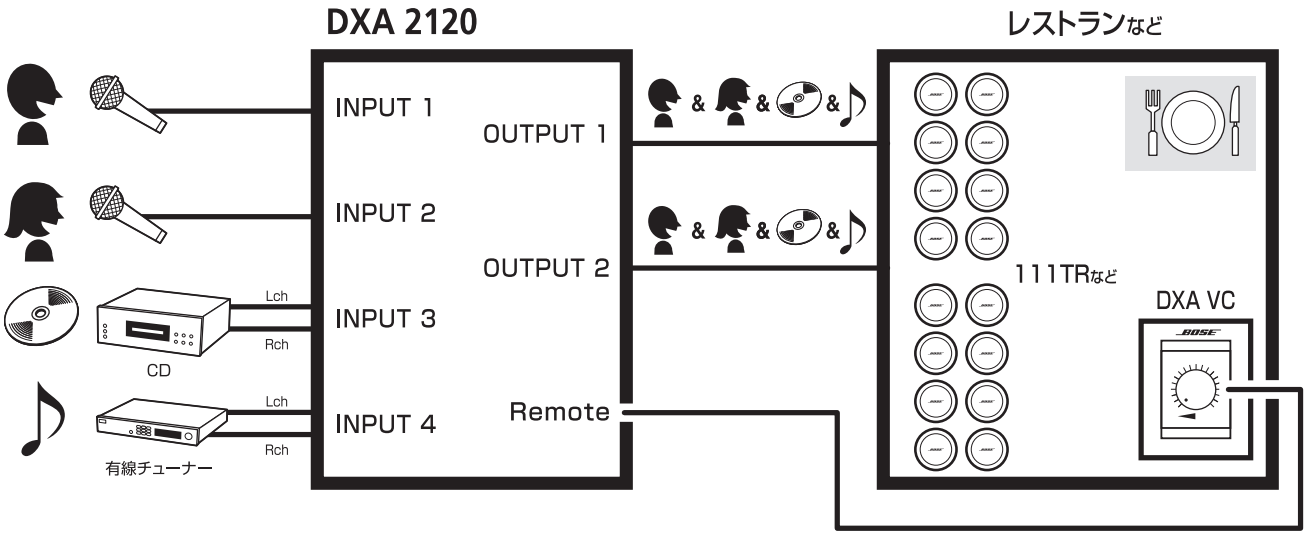
3つの動作モードについて

DXA2120には以下3つの動作モードを備えています。システム内容に応じて最適なモードを選択の上、各種設定を行う必要があります。以下それぞれの特長と典型的なシステム例を説明します。

1. Mixer Mode ミキサーモード

ミキサーモード (Mixer Mode)

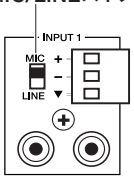
INPUT1〜4の入力をミックスして、OUTPUT1、2の各出力へ割り当てます。1つのゾーンで4系統までの複数の音源をミックスして再生したい場合に最適です。



使い方

Lineレベルの信号はRCAジャックまたはユーロブロックコネクターを使って接続します。また、2つのRCAジャックからの入力信号はミックスされてモノラル(モノミックス)になります。マイクレベルの信号は、ユーロコネクタしか使えません。また、マイクを使用するときは、MIC/LINEスイッチがMICに設定されていることを確認してください。

MIC/LINEスイッチ



ミキサーモードでは、INPUT1〜4のソースを全てミックスした信号を、OUTPUT1またはOUTPUT2のみ、あるいは、OUTPUT1と2両方へというようなルーティングの設定ができます。

音源 1 → INPUT 1 → OUTPUT 1 and/or 2
音源 2 → INPUT 2 → OUTPUT 1 and/or 2
音源 3 → INPUT 3 → OUTPUT 1 and/or 2
音源 4 → INPUT 4 → OUTPUT 1 and/or 2

AUX OUTPUTからの出力は OUTPUT1/2のルーティングに関係なく設定できます (18ページ参照)。

ミキシングの仕方

INPUT1〜4の入力レベルの調整は前面パネルの入力ゲイン調整つまみを使って行います。入力されるソースのレベルにあわせてこのつまみでゲイン (音量) を調整します。

音量調整の仕方

OUTPUT1、2の出力レベル (音量) 調整は前面パネルのカバー内のOUTPUT1 GAIN、OUTPUT2 GAIN調整つまみで調整します。
※マスターボリューム設定を行うと、OUTPUT1 GAINつまみの調整だけでOUTPUT1/2両方の音量調整を連動させることができます (21ページG参照)。

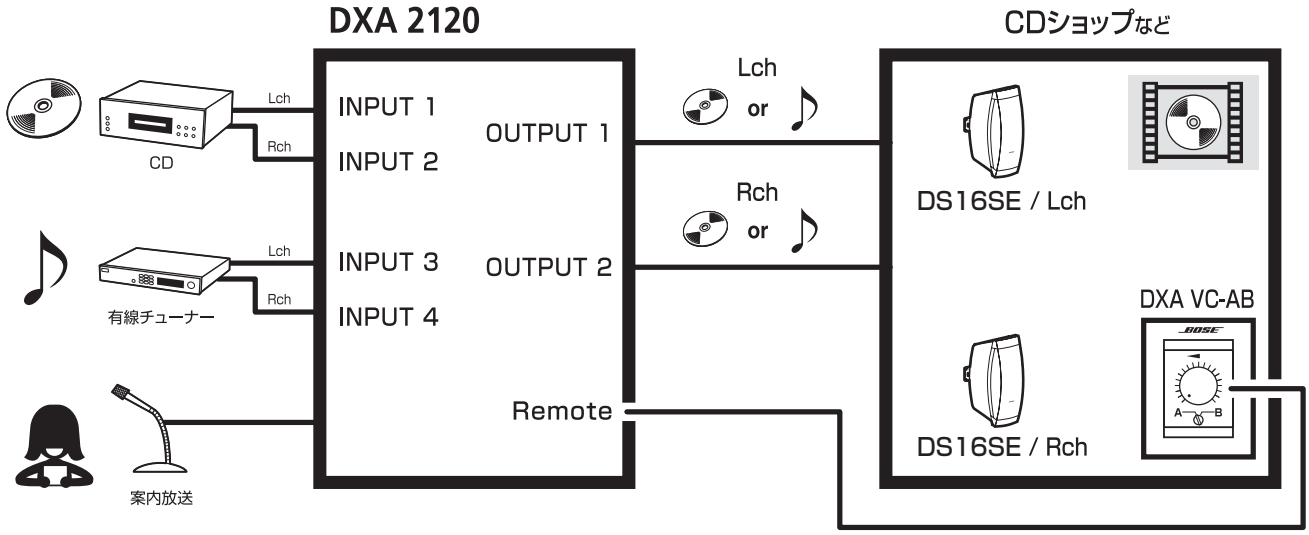
注意 : 専用ボリュームコントローラー (DXA VC) を使用している場合は、前面パネルのOUTPUT1、OUTPUT2GAIN調整つまみを使用して音量の調整ができなくなります。

※ミキサーモード使用時の注意点

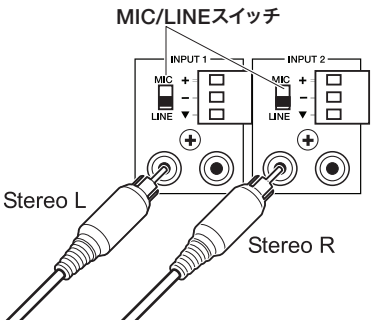
ミキサーモードの工場出荷時設定は、INPUT1のみ有効となっています。複数の音源を接続しても初期設定を変更しない限り、INPUT1の音源しか再生されませんので、ご注意ください。複数のソースをミックス再生する場合には、OUTPUT1、2それぞれに対し、INPUT2〜4の初期設定値を変更する必要があります (18ページCを参照)。"Mixer Output Set-up" 内"Input Mix" のINPUT2〜4をそれぞれ"N"から"Y"に変更します。またページング用マイクを使用する場合も、同様に初期設定値を変更する必要があります (20ページE参照)。

2. Stereo Select Mode ステレオセレクトモード

ステレオセレクトモード (Stereo Select Mode)
ステレオ2系統の入力 (INPUT1、3:Lch/INPUT2、4:Rch) から、LchはOUTPUT1へ、RchはOUTPUT2へ出力するように割り当てます。
1つのゾーンでステレオ機器2系統のうち1系統を選んで再生したい場合に最適です。



使い方
Lineレベルの信号はRCAジャックまたはユーロブロックコネクターを使って接続します。ステレオ再生をするためには、必ず図のようにL・Rごとに入力系統をわけて接続します。マイクレベルの信号は、ユーロブロックコネクタしか使えません。また、マイクを使用するときは、MIC/LINEスイッチがMICに設定されていることを確認してください。ステレオセレクトモード時は入力と出力の関係が下のように決まっています。



音源 1 Left → INPUT 1 → OUTPUT 1
音源 1 Right → INPUT 2 → OUTPUT 2
音源 2 Left → INPUT 3 → OUTPUT 1
音源 2 Right → INPUT 4 → OUTPUT 2

AUX OUTPUT端子からの出力は次のように設定することができます。
・INPUT1からの入力とINPUT2からの入力を合成したモノラル信号
・INPUT3からの入力とINPUT4からの入力を合成したモノラル信号
・専用入力切替機能付ボリュームコントローラー (DXA VC-AB) の入力切替操作に連動

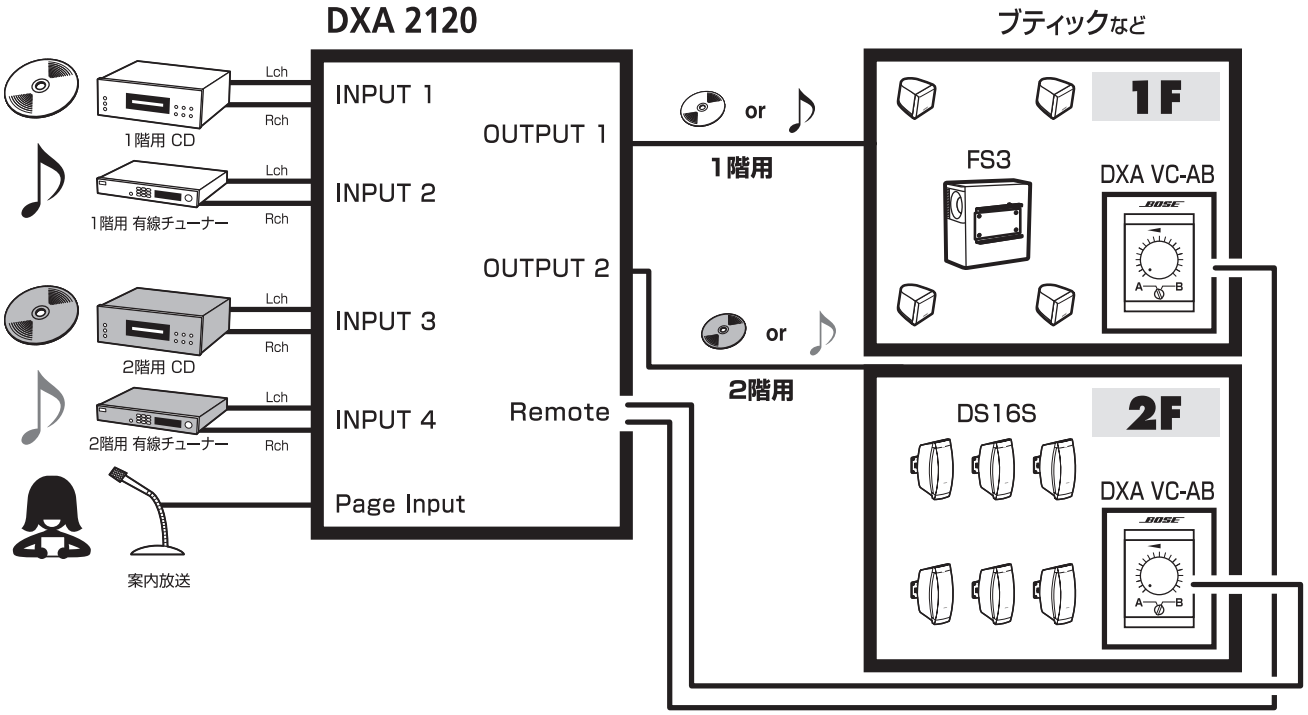
ミキシングの仕方
入力レベルの調整は前面パネルの入力ゲイン調整つまみを使って行います。INPUT1と2のレベルはINPUT 1つまみで、INPUT3と4のレベルは、INPUT 3つまみで、入力されるソースのレベルにあわせてゲイン (音量) を調整します。

音量調整の仕方
OUTPUT1、2の出力レベル (音量) 調整は前面パネルのカバー内のOUTPUT1 GAIN調整つまみで調整します。
※ ・OUTPUT2のGAIN調整つまみを使用して音量の調整はできません。
・専用入力切替機能付ボリュームコントローラー (DXA VC-AB) を使用すると、音量のリモート調整だけでなく2系統の音源を切り替えることもできます (31ページ参照)。

注意 : 専用入力切替機能付ボリュームコントローラー (DXA VC-AB) を使用しているときは、前面パネルのOUTPUT1、OUTPUT2GAIN調整つまみを使用して音量の調整ができなくなります。

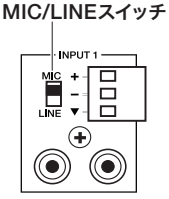
3. DualMono Select Mode デュアルモノセレクトモード

デュアルモノセレクトモード(DualMono Select Mode)
INPUT1、2の入力をOUTPUT1へ、INPUT3、4の入力をOUTPUT2へ割り当てます。2つの異なるゾーンで、それぞれ2系統の音源を選んで再生したい場合に最適です。



使い方
Lineレベルの信号はRCAジャックまたはユーロブロックコネクターを使って接続します。INPUT1～2の入力チャンネルをOUTPUT1に割り当て、INPUT3～4の入力チャンネルをOUTPUT2に割り当てます。また、マイクを使用するときは、MIC/LINEスイッチがMICに設定されていることを確認してください。デュアルモノセレクトモード時は入力と出力の関係が下図のように決まっています。

MIC/LINEスイッチ



音源 1 → INPUT 1 → OUTPUT 1
音源 2 → INPUT 2 → OUTPUT 1
音源 3 → INPUT 3 → OUTPUT 2
音源 4 → INPUT 4 → OUTPUT 2

AUX OUTPUT端子からの出力は次のように設定することができます（27ページC参照）。
・INPUT1からの入力信号
・OUTPUT1側をコントロールする専用入力切替機能付ボリュームコントローラー（DXA VC-AB）の入力切替操作に連動

ミキシングの仕方
入力レベルの調整は前面パネルの入力ゲイン調整つまみを使って行います。入力されるソースのレベルにあわせてゲイン（音量）を調整します。

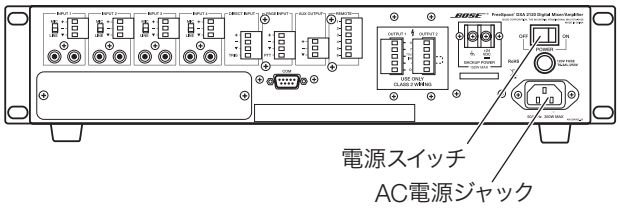
音量調整の仕方
OUTPUT1、2の出力レベル（音量）調整は前面パネルのカバー内のOUTPUT1 GAIN、OUTPUT2 GAIN調整つまみで調整します。
※ゾーン1、2にそれぞれ入力切替機能付専用ボリュームコントローラー（DXA VC-AB）を使うことで、ゾーン毎に独立したマスターボリュームのリモート調整と2系統のソース切替が可能となります（31ページ参照）。

注意：専用入力切替機能付ボリュームコントローラー（DXA VC-AB）を使用しているときは、前面パネルのOUTPUT1、OUTPUT2GAIN調整つまみを使用して音量の調整ができなくなります。

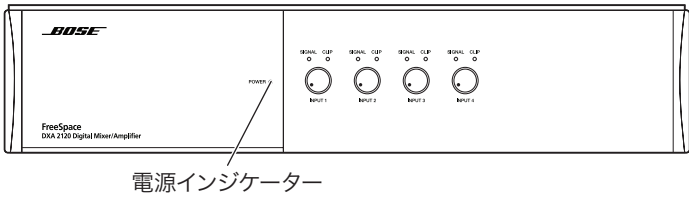
システムセットアップについて

システムのセットアップを行うときは、電源を入れてください。

背面パネル

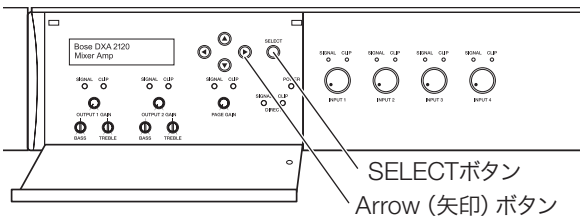


前面パネル



注意：一時的に電源プラグが抜かれたり、電源の供給が止まった場合、設定内容は内部のメモリで保持されますが、電源が供給されていない状態で操作をつづけるには、オプションの予備電源が必要になります。

前面のカバーを開けてセットアップを行います。



※ システムがロックされている場合、左右の矢印ボタンを同時に「Lockout Off」が表示されるまで（約5秒間）押し続けてください。

基本の操作

SELECT

・SELECTボタンを押して、設定項目の選択と確定を行います。

・矢印ボタンを使って、メニュー項目や設定内容を選択、変更します。

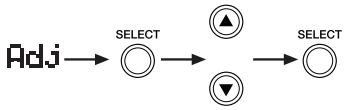
モードの種類

・Mixer Mode（ミキサーモード）… 13ページ参照
・Stereo Select Mode（ステレオセレクトモード）… 14ページ参照
・Dual Mono Select Mode（デュアルモノセレクトモード）… 15ページ参照
・Utility（ユーティリティー）… 30ページ参照

内容を変更する場合の方法

変更したい項目に移動して、内容を変更するときは
1. SELECTボタンを押して変更モードにします。
2. ▲、▼ボタンを押して、変更します。
3. SELECTボタンを押して確定します。

変更モードのときに何も触らずに45秒経過すると一番最初の画面に戻ります。



いくつかの設定項目はメニュー画面には表示されますが、専用のつまみを回して変更しなければならないものがあります。

INPUT — Mic/Lineから入力しているソース入力レベルを変更するときは前面パネル上のINPUT 1/2/3/4の入力ゲイン調整つまみを使用します。

OUTPUT GAIN — 出力レベルを変更するには前面パネルカバー内のOUTPUT 1/2 GAIN調整つまみを使用します。

BASS TREBLE — 出力の低音の量と出力の高音の量の増減は前面パネルカバー内の BASS、TREBLEつまみを使用します。

PAGE GAIN — ページングソースの入力レベルを変えるには前面パネルカバー内のPAGE GAINつまみを使います。

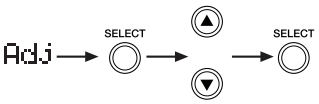
ミキサーモード設定

- **A. モードの選択**
- **B. 入力の設定**
- **C. 出力の設定**
- **D. イコライザーの設定**
- **E. ページングの設定**
- **F. DIRECT インプットの設定**
- **G. マスターボリュームの設定**

内容を変更する場合の方法

変更したい項目に移動して、内容を変更するときは

1. SELECTボタンを押して変更モードにします。
2. ▲、▼ボタンを押して、変更します。
3. SELECTボタンを押して確定します。



音量や音質を変えるときは、
前面パネルの中にある専用のつまみで行います。

入力レベルを変更するときは

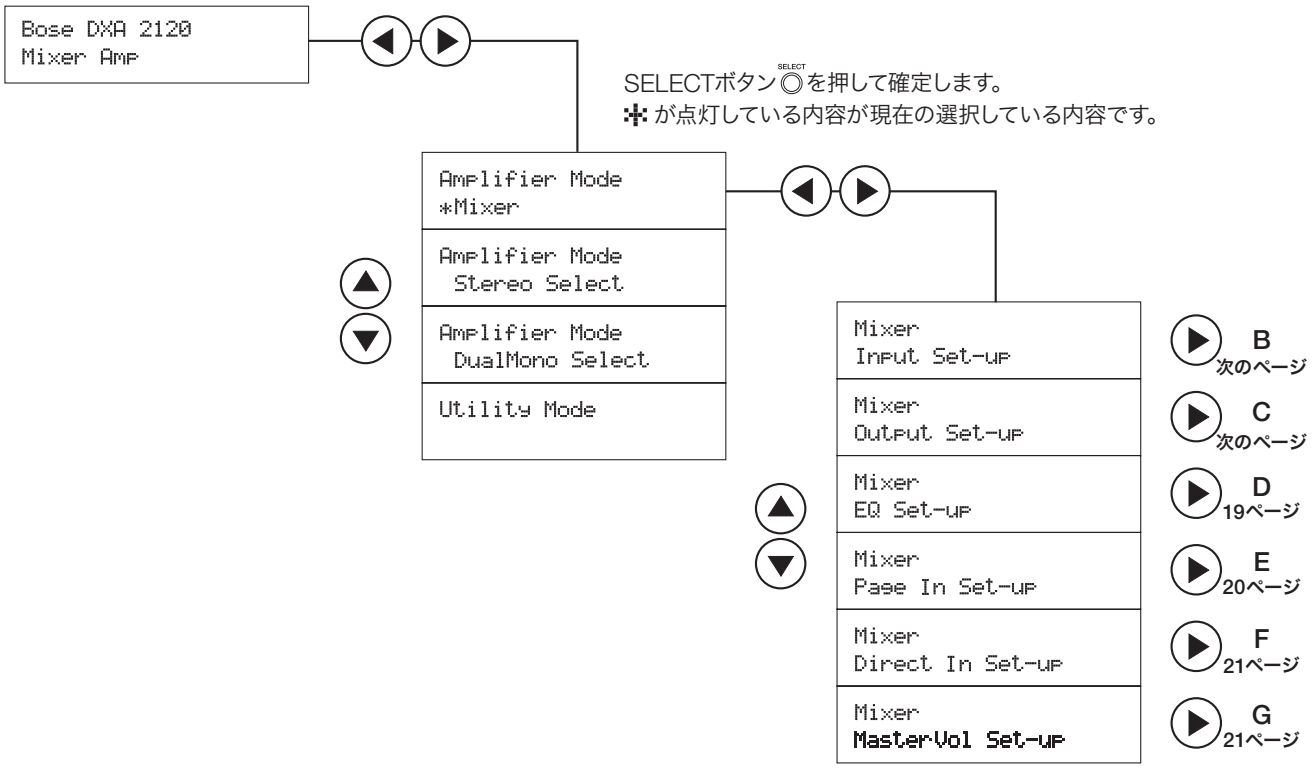
出力レベルを変更するときは

低音の量と高音の量を変えるには

PAGE INPUT入力ソースの
レベルを変えるには

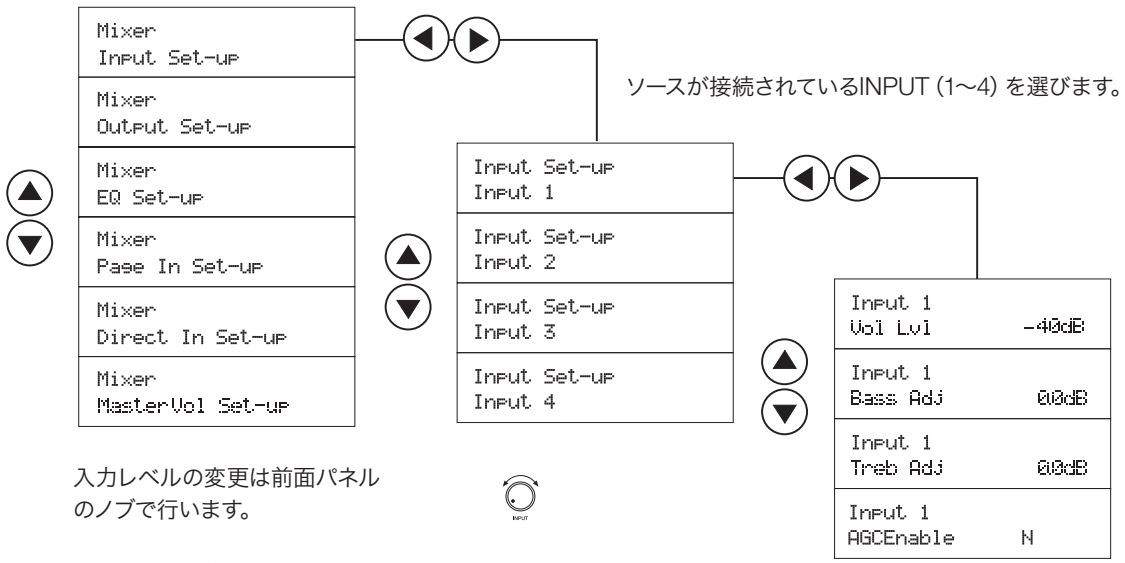
A

ミキサーモードを選択



B

入力の設定

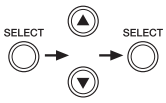


ソースが接続されているINPUT (1〜4) を選びます。

入力レベルの変更は前面パネルのノブで行います。

入力ソースの高域、低域の調整は
(調整可能範囲 : ±6dB 0.5dBステップ)

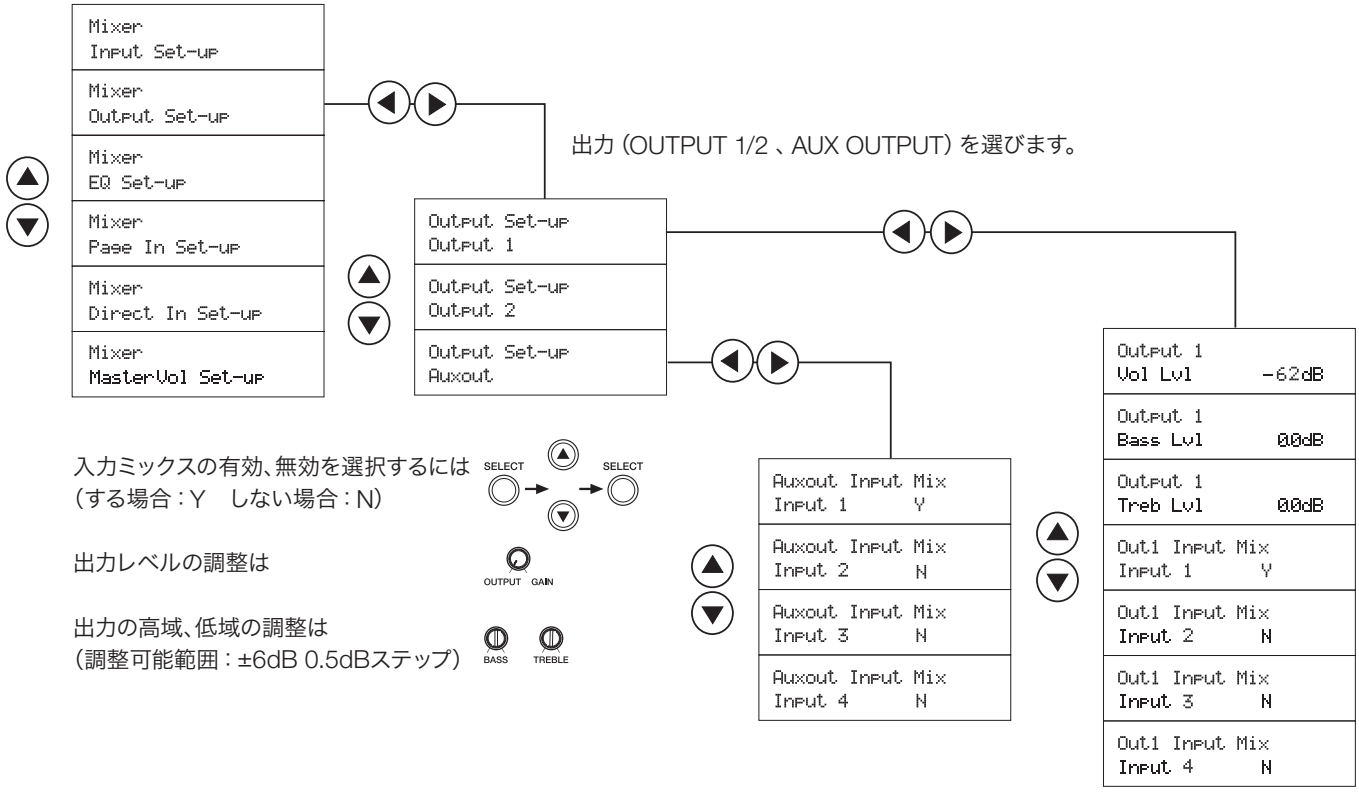
AGC(オートゲインコントロール)のON/OFFは



注意 : AGCの初期設定はN(OFF)です。また、AGCは 入力レベルの低い機器 (マイクロホンなど)使用時に使用します。

C

出力の設定



出力 (OUTPUT 1/2 、AUX OUTPUT) を選びます。

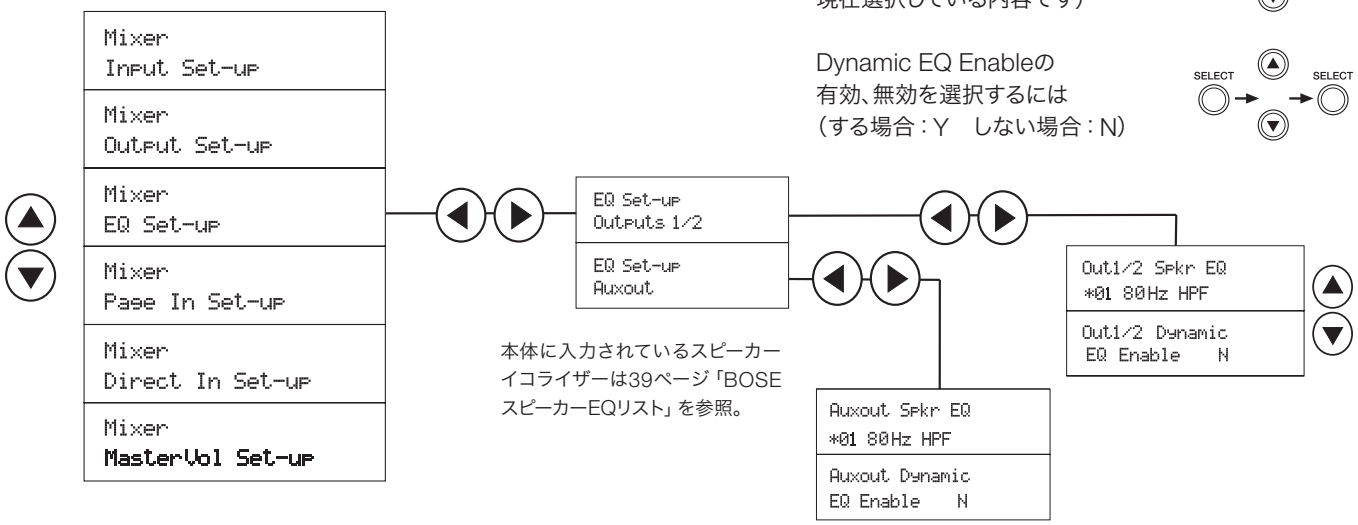
入力ミックスの有効、無効を選択するには
(する場合 : Y　しない場合 : N)

出力レベルの調整は

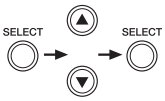
出力の高域、低域の調整は
(調整可能範囲 : ±6dB 0.5dBステップ)

D

イコライザーの設定



スピーカーイコライザーを選択するには
（✣が点灯している内容が
現在選択している内容です）



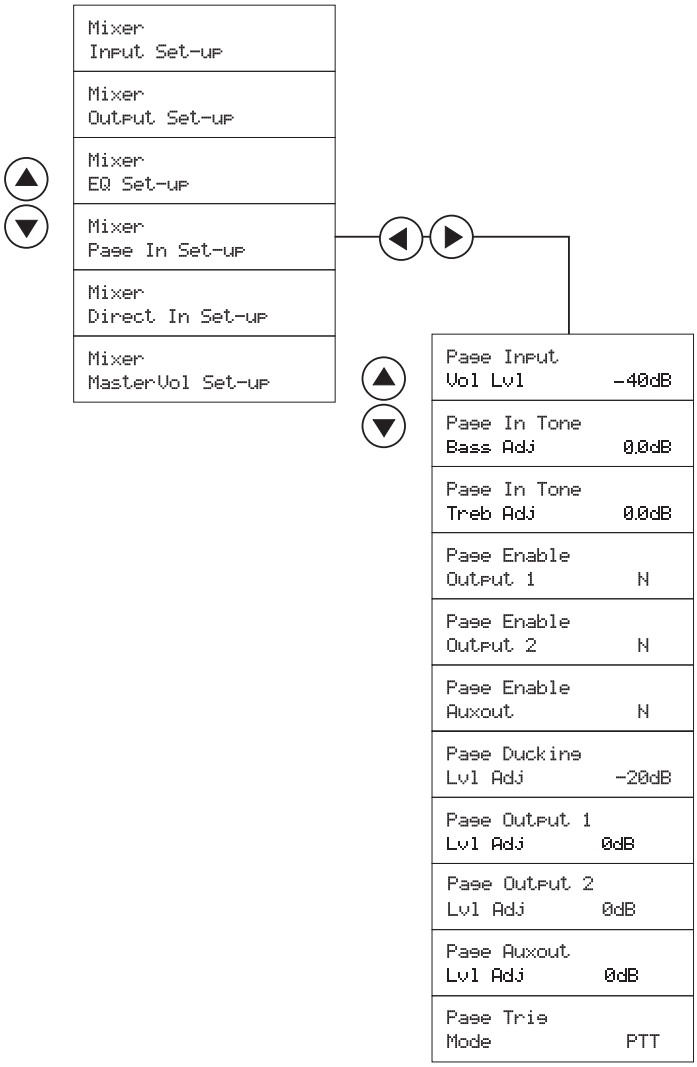
Dynamic EQ Enableの
有効、無効を選択するには
（する場合：Y　しない場合：N）

本体に入力されているスピーカー
イコライザーは39ページ「BOSE
スピーカーEQリスト」を参照。

注意：Dynamic EQによる補正はどの音量のときでも働きます。
Dynamic EQをONにすると、自動的に出力レベルの設定がDynamic EQ用に変更になります。

E

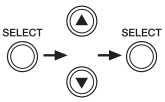
ページングの設定



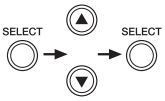
PAGE INPUT入力ソースのレベルの変更は

PAGE INPUTソースの高域、低域の調整は
(調整可能範囲 : ±6dB 0.5dBステップ)

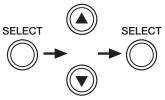
ページング機能の有効、無効を選択するには
(する場合 : Y しない場合 : N)



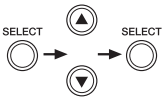
ページング時の減衰量を変更するには
(調整可能範囲 : –50dB〜0dB 1dBステップ)



PAGE INPUTソースの出力レベルを
変更するには
(調整可能範囲 : ±20dB 1dBステップ)



PAGE INPUTソース入力時のトリガ
(きっかけ)を選択するには

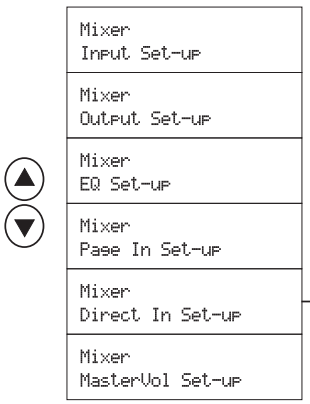


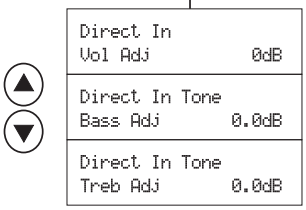
PTT : 音声を入力するときにプッシュスイッチを押すタイプのマイク(push-to-talk-style)を使用するときにこの設定を選びます。

Auto : PAGE INPUTから音声が入力されると自動的にページングが働くように設定するときはこの設定を選びます。

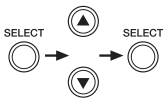
F

DIRECT インプットの設定





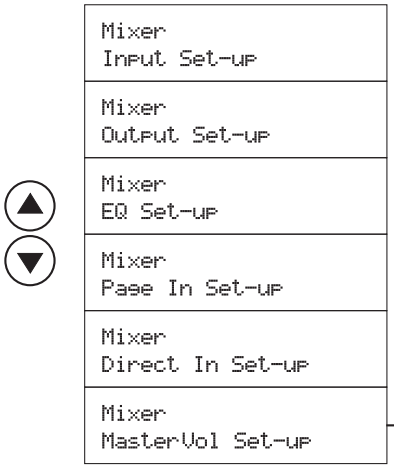
DIRECT入力ソースのレベルの変更は
（調整可能範囲：–40dB～+10dB 1dBステップ）

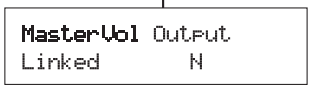


DIRECT入力ソースの高域、低域の調整は
（調整可能範囲：±6dB 0.5dBステップ）

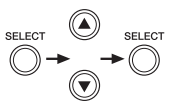
G

マスターボリュームの設定





Output Linked（出力レベルの連動機能）の有効、無効を選択するには
（する場合：Y　しない場合：N）



連動機能を有効にするとOUTPUT 1 GAINつまみの調整でOUTPUT 1とOUTPUT 2両方の音量が同時に変化します。

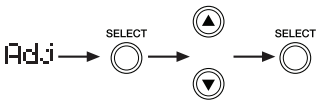
ステレオセレクトモード設定

- **A. モードの選択**
- **B. 入力の設定**
- **C. 出力の設定**
- **D. イコライザーの設定**
- **E. ページングの設定**
- **F. DIRECT インプットの設定**

内容を変更する場合の方法

変更したい項目に移動して、内容を変更するときは

1. SELECTボタンを押して変更モードにします。
2. ▲、▼ボタンを押して、変更します。
3. SELECTボタンを押して確定します。



音量や音質を変えるときは、
前面パネルの中にある専用のつまみで行います。

入力レベルを変更するときは

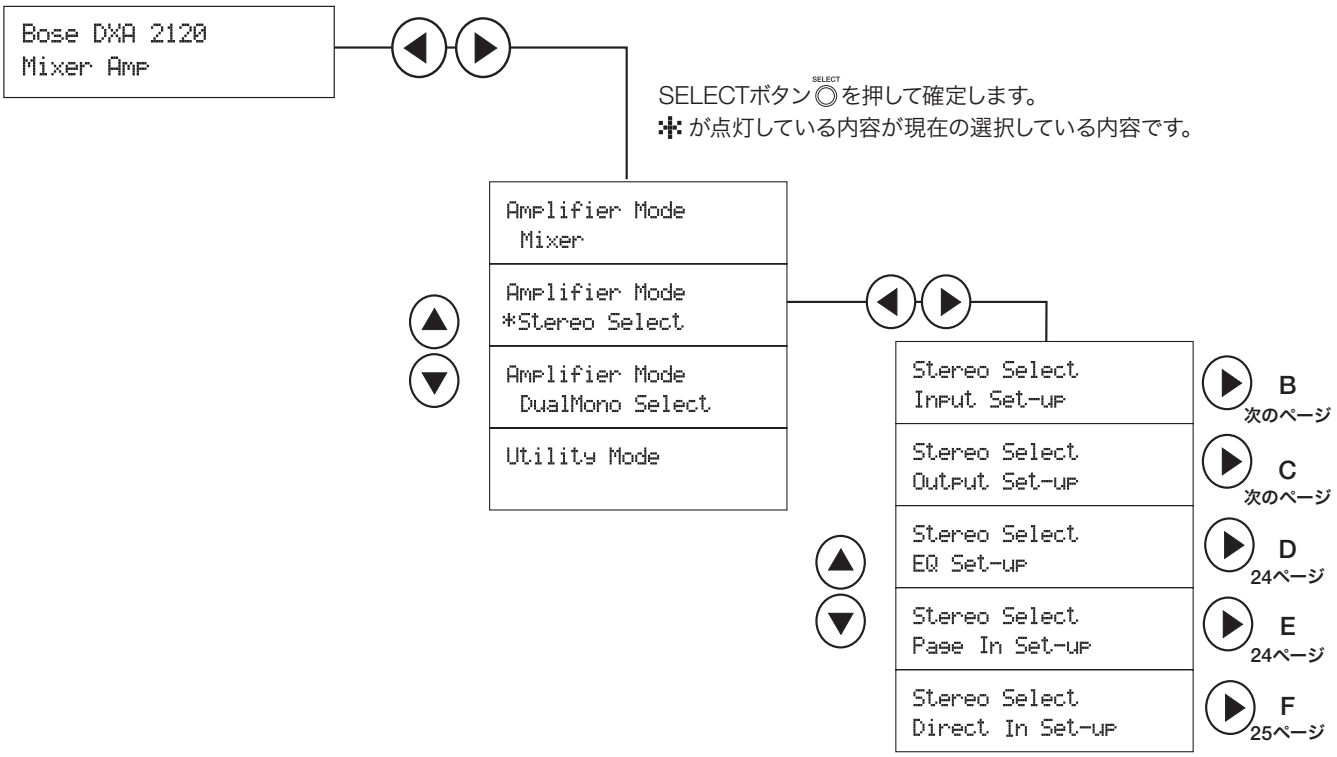
出力レベルを変更するときは

低音の量と高音の量を変えるには

PAGE INPUT入力ソースの
レベルを変えるには

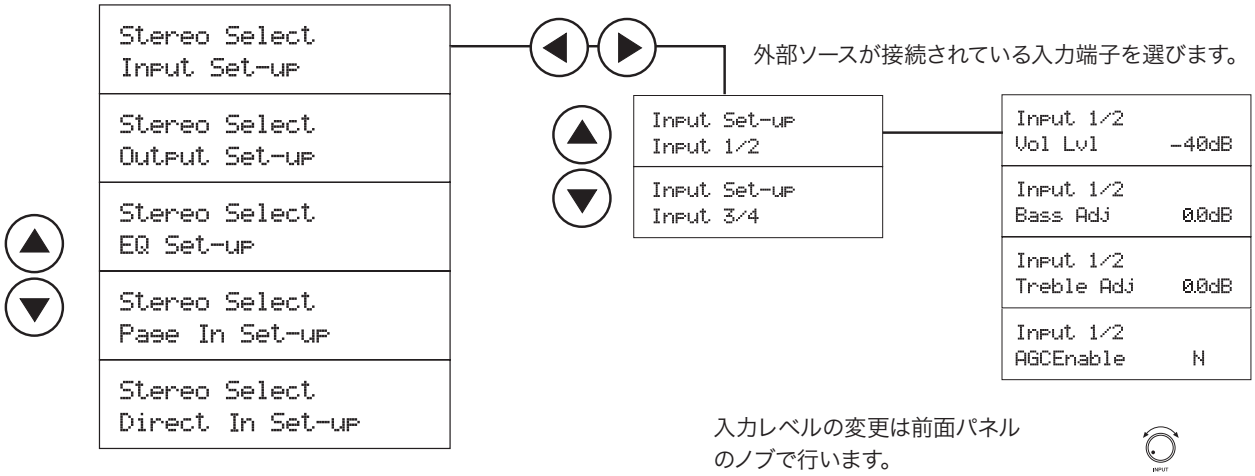
A

ステレオセレクトモードの選択



B

入力の設定

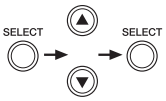


外部ソースが接続されている入力端子を選びます。

入力レベルの変更は前面パネルのノブで行います。

入力ソースの高域、低域の調整は
（調整可能範囲：±6dB 0.5dBステップ）

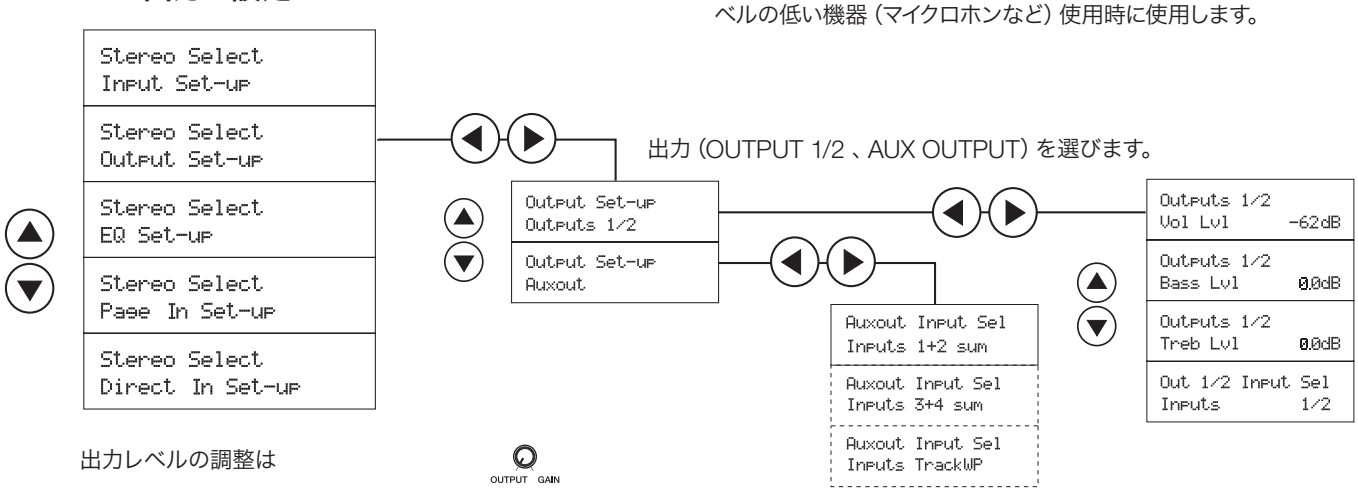
AGC（オートゲインコントロール）の
ON/OFFは



注意：AGCの初期設定はN（OFF）です。また、AGCは入力レベルの低い機器（マイクロホンなど）使用時に使用します。

C

出力の設定

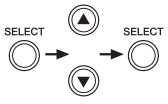


出力（OUTPUT 1/2 、AUX OUTPUT）を選びます。

出力レベルの調整は

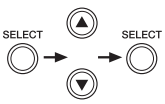
出力の高域、低域の調整は
（調整可能範囲：±6dB 0.5dBステップ）

入力ソースの選択は



AUX OUTPUT端子からの出力を選びます。

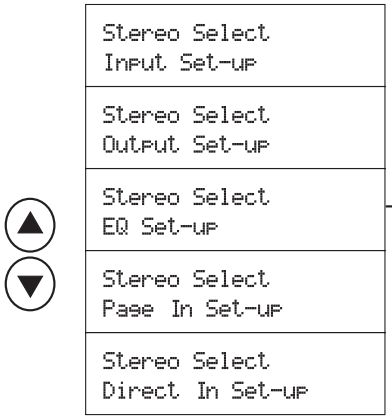
- Inputs 1+2 sum
  INPUT1とINPUT2からの入力を合成したモノラル信号。
- Inputs 3+4 sum
  INPUT3とINPUT4からの入力を合成したモノラル信号。



- Inputs TrackWP
  DXA VC-AB使用時は、切替スイッチに連動したモノラル信号。

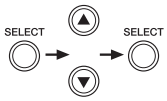
D

イコライザーの設定

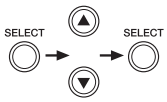


本体に入力されているスピーカーイコライザーは39ページ「BOSE スピーカーEQリスト」を参照。

スピーカーイコライザーを選択するには
（✻が点灯している内容が
現在選択している内容です）



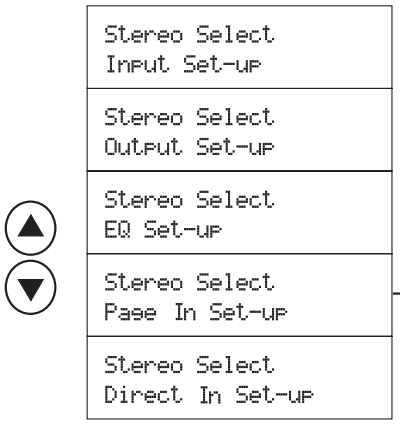
Dynamic EQ Enableの
有効、無効を選択するには
（する場合：Y　しない場合：N）

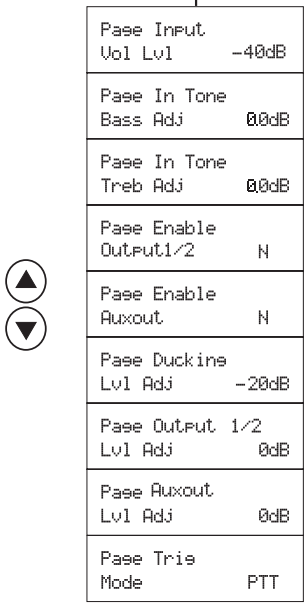


注意：Dynamic EQによる補正はどの音量のときでも働きます。
Dynamic EQをONにすると、自動的に出力レベルの設定がDynamic EQ用に変更になります。

E

ページングの設定

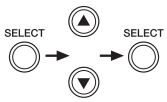




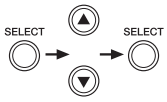
PAGE INPUT入力ソースの
レベルの変更は

PAGE INPUTソースの
高域、低域の調整は
（調整可能範囲：±6dB
0.5dBステップ）

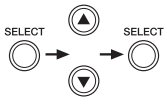
ページング機能の有効、無効を
選択するには
（する場合：Y　しない場合：N）



ページング時の減衰量を
変更するには
（調整可能範囲：–50dB～0dB
1dBステップ）



PAGE INPUTソースの
出力レベルを変更するには
（調整可能範囲：±20dB
1dBステップ）

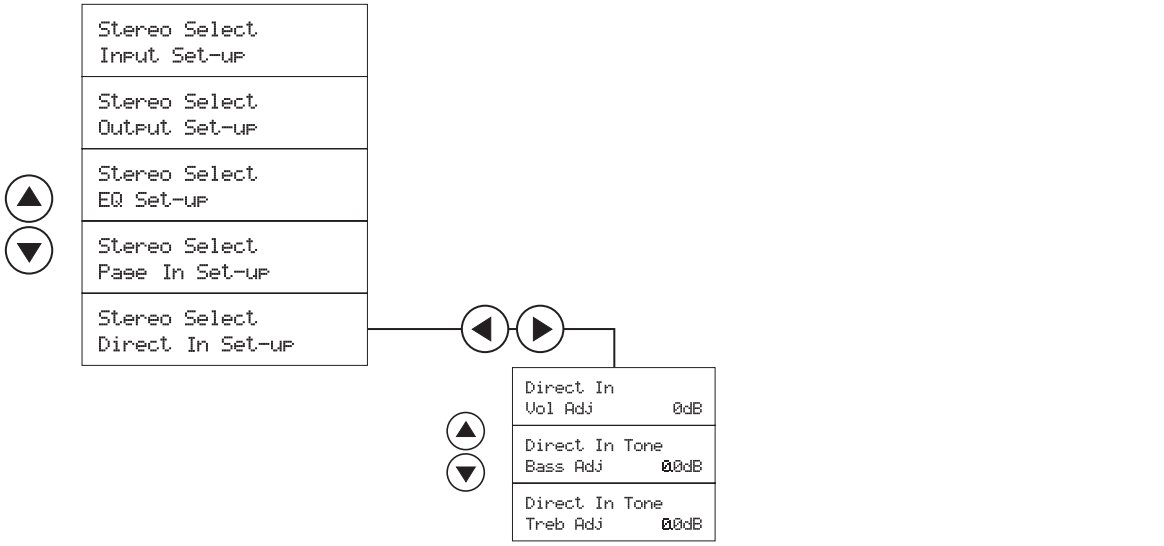


PTT：音声を入力するときにプッシュスイッチを押すタイプのマイク（push-to-talk-style）を使用するときにこの設定を選びます。

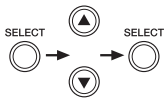
Auto：PAGE INPUTから音声が入力されると自動的にページングが働くように設定するときはこの設定を選びます。

F

DIRECT インプットの設定



DIRECT入力ソースのレベルの変更は
（調整可能範囲：–40dB～+10dB 1dBステップ）



DIRECT入力ソースの高域、低域の調整は
（調整可能範囲：±6dB 0.5dBステップ）

デュアルモノセレクトモードの設定

A. モードの選択

B. 入力の設定

C. 出力の設定

D. イコライザーの設定

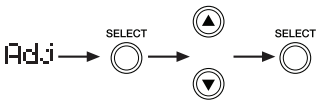
E. ページングの設定

F. DIRECT インプットの設定

内容を変更する場合の方法

変更したい項目に移動して、内容を変更するときは

1. SELECTボタンを押して変更モードにします。
2. ▲、▼ボタンを押して、変更します。
3. SELECTボタンを押して確定します。



音量や音質を変えるときは、
前面パネルの中にある専用のつまみで行います。

入力レベルを変更するときは

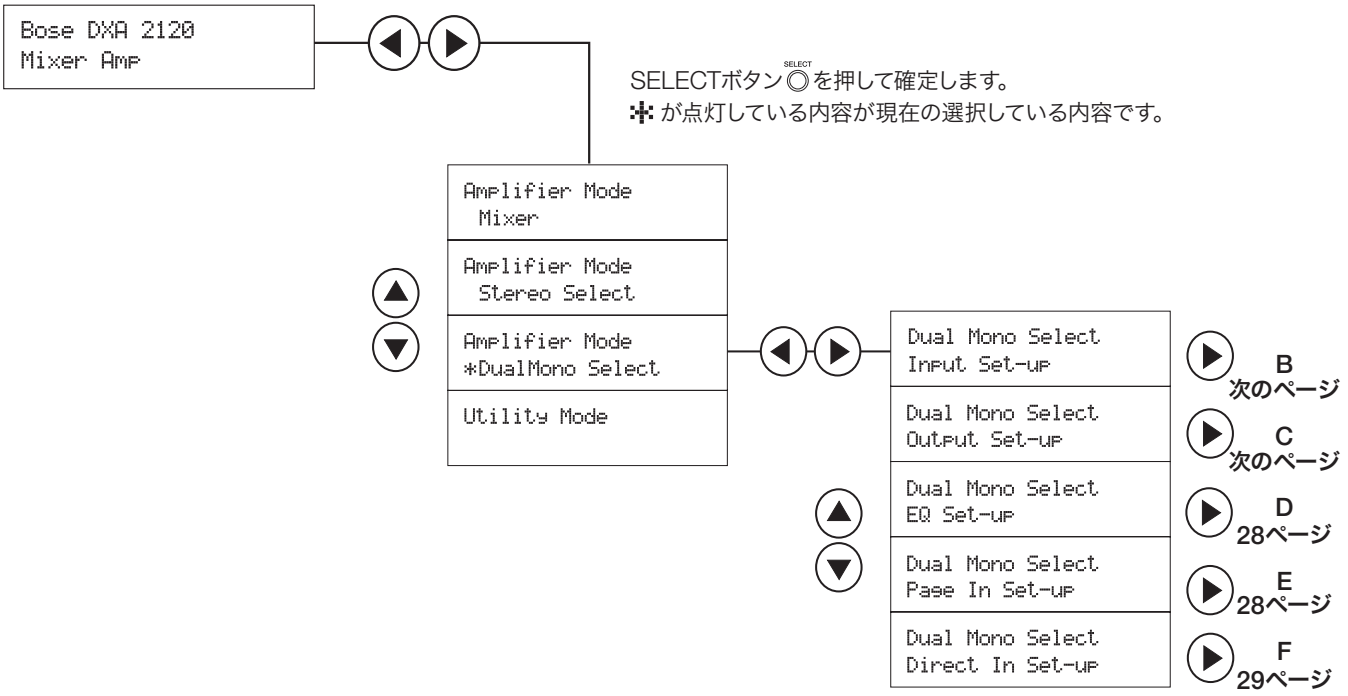
出力レベルを変更するときは

低音の量と高音の量を変えるには

PAGE INPUT入力ソースの
レベルを変えるには

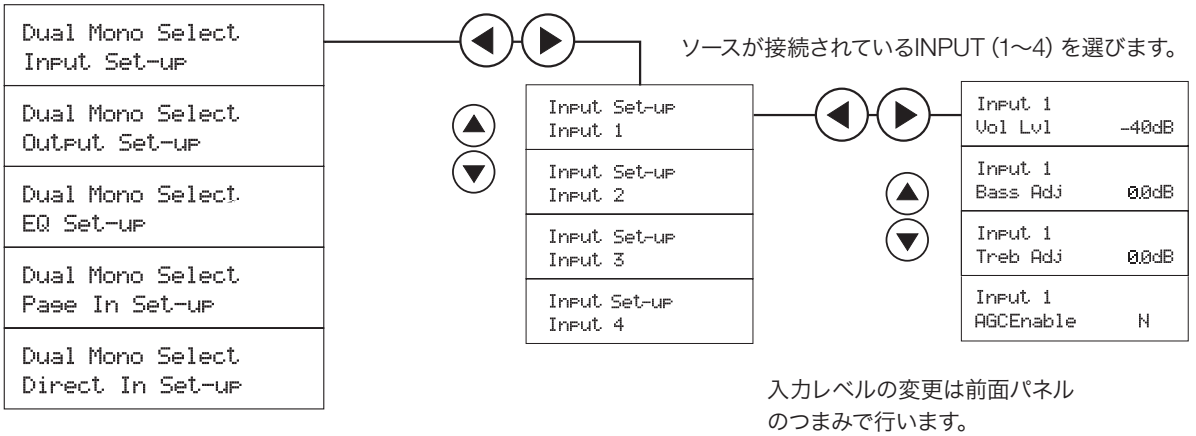
A

デュアルモノセレクト モードの選択



B

入力の設定

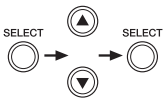


ソースが接続されているINPUT (1〜4) を選びます。

入力レベルの変更は前面パネル
のつまみで行います。

入力ソースの高域、低域の調整は
(調整可能範囲 : ±6dB 0.5dBステップ)

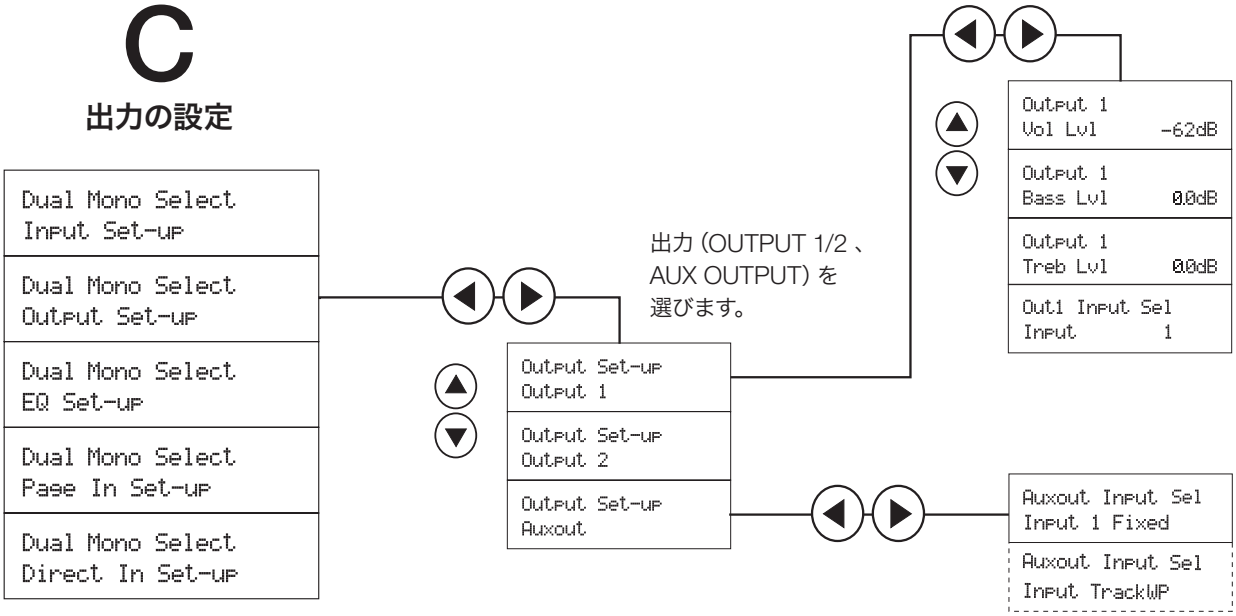
AGC(オートゲインコントロール)の
ON/OFFは



注意 : AGCの初期設定はN (OFF) です。また、AGCは入力レベルの低い機器 (マイクロホンなど) 使用時に使用します。

C

出力の設定

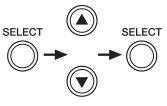


出力 (OUTPUT 1/2 、
AUX OUTPUT) を
選びます。

出力レベルの調整は

出力の高域、低域の調整は
(調整可能範囲 : ±6dB 0.5dBステップ)

OUTPUT 1、OUTPUT 2から
出力されるソースの選択は

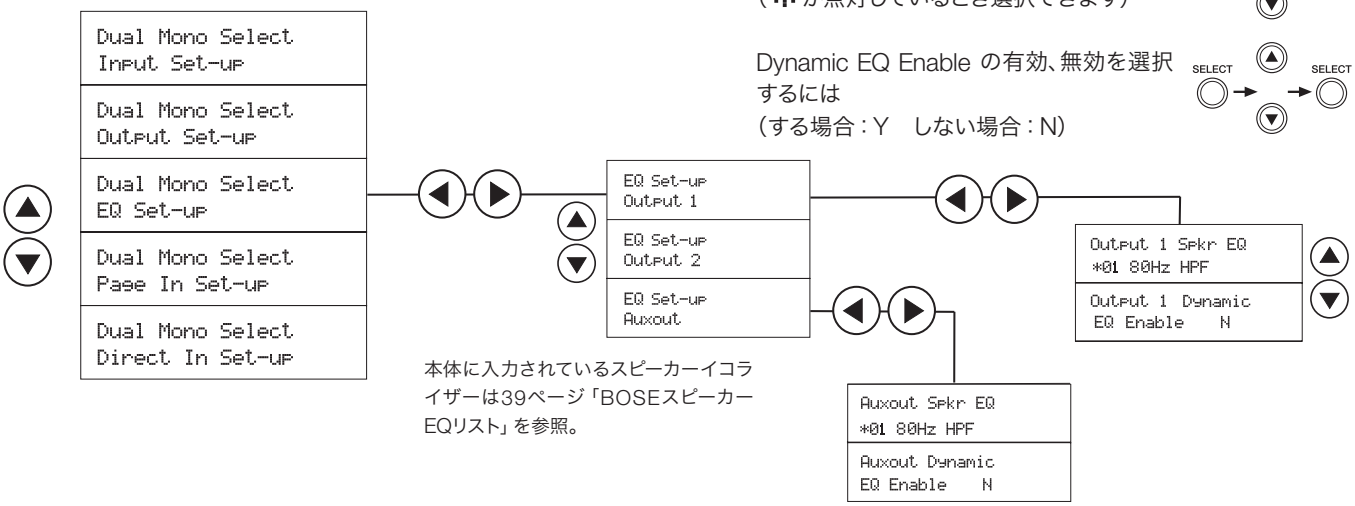


AUX OUTPUT端子からの出力を選びます。

- Inputs 1 Fixed
  INPUT1からの入力信号。
- Input TrackWP
  OUTPUT1側をコントロールするDXA VC-ABの入力切替操作に連動。

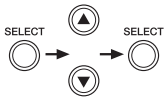
D

イコライザーの設定



本体に入力されているスピーカーイコライザーは39ページ「BOSEスピーカーEQリスト」を参照。

スピーカーイコライザーを選択するには
(✻ が点灯しているとき選択できます)

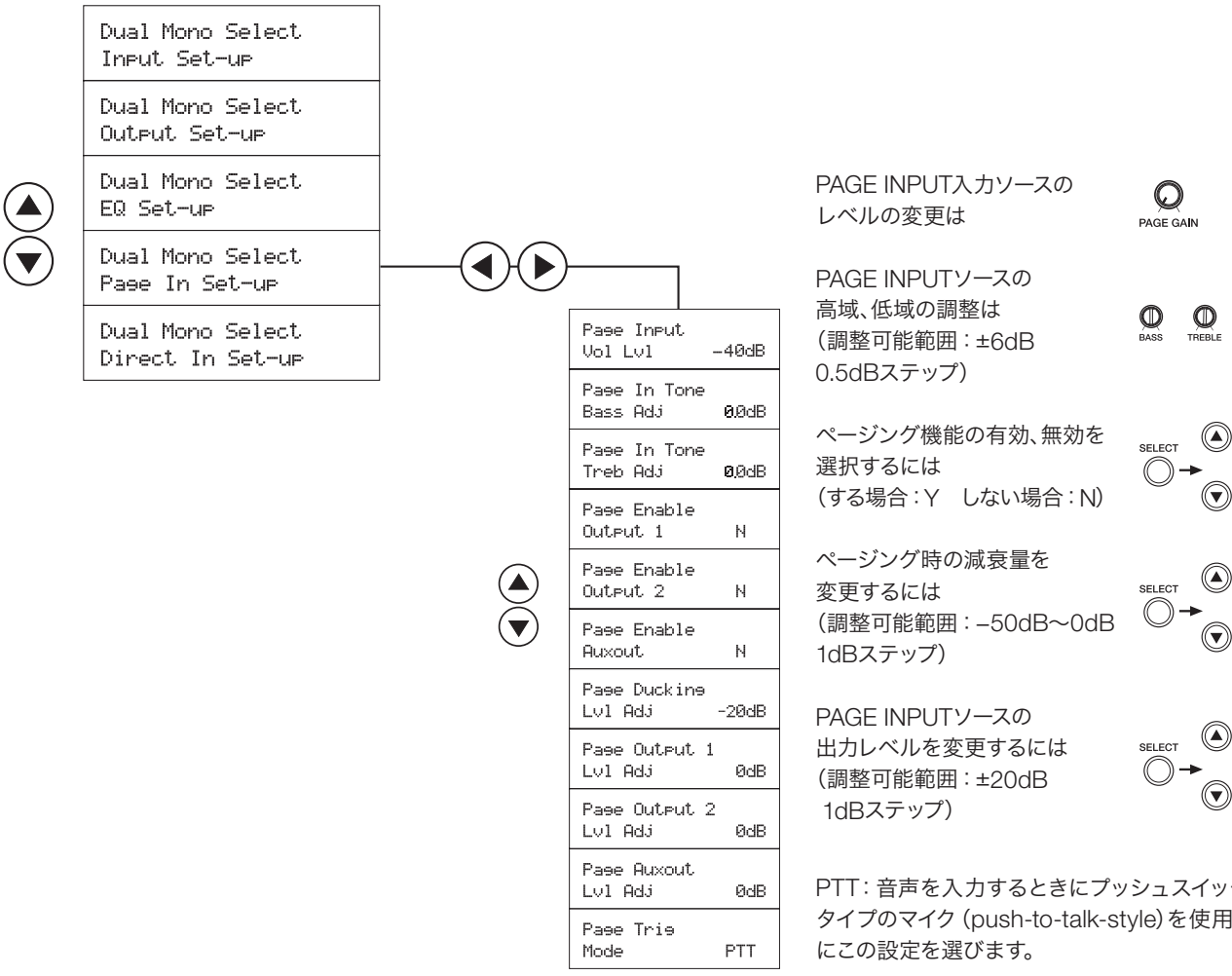


Dynamic EQ Enable の有効、無効を選択するには
(する場合 : Y　しない場合 : N)

注意 : Dynamic EQによる補正はどの音量のときでも働きます。
Dynamic EQをONにすると、自動的に出力レベルの設定がDynamic EQ用に変更になります。

E

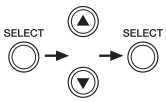
ページングの設定



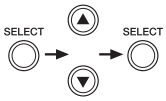
PAGE INPUT入力ソースのレベルの変更は

PAGE INPUTソースの高域、低域の調整は
(調整可能範囲 : ±6dB 0.5dBステップ)

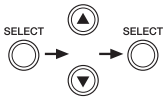
ページング機能の有効、無効を選択するには
(する場合 : Y　しない場合 : N)



ページング時の減衰量を変更するには
(調整可能範囲 : –50dB～0dB 1dBステップ)



PAGE INPUTソースの出力レベルを変更するには
(調整可能範囲 : ±20dB 1dBステップ)

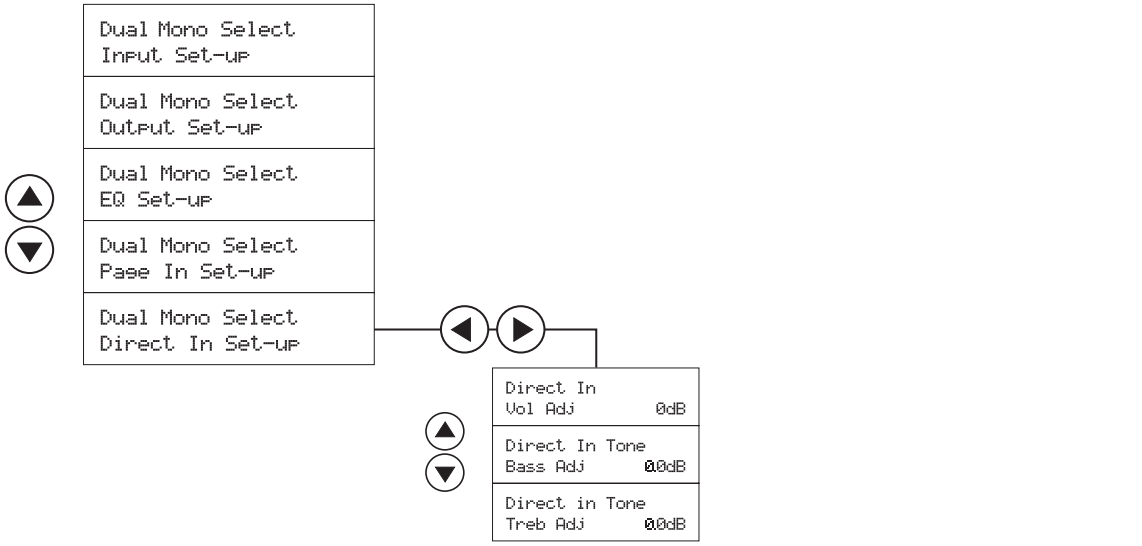


PTT : 音声を入力するときにプッシュスイッチを押すタイプのマイク (push-to-talk-style) を使用するときにこの設定を選びます。

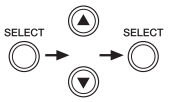
Auto : PAGE INPUTから音声が入力されると自動的にページングが働くように設定するときはこの設定を選びます。

F

DIRECT インプットの設定



DIRECT入力ソースのレベルの変更は
（調整可能範囲：–40dB〜+10dB 1dBステップ）



DIRECT入力ソースの高域、低域の調整は
（調整可能範囲：±6dB 0.5dBステップ）

ユーティリティーモードの設定

ユーティリティーモードの主な機能

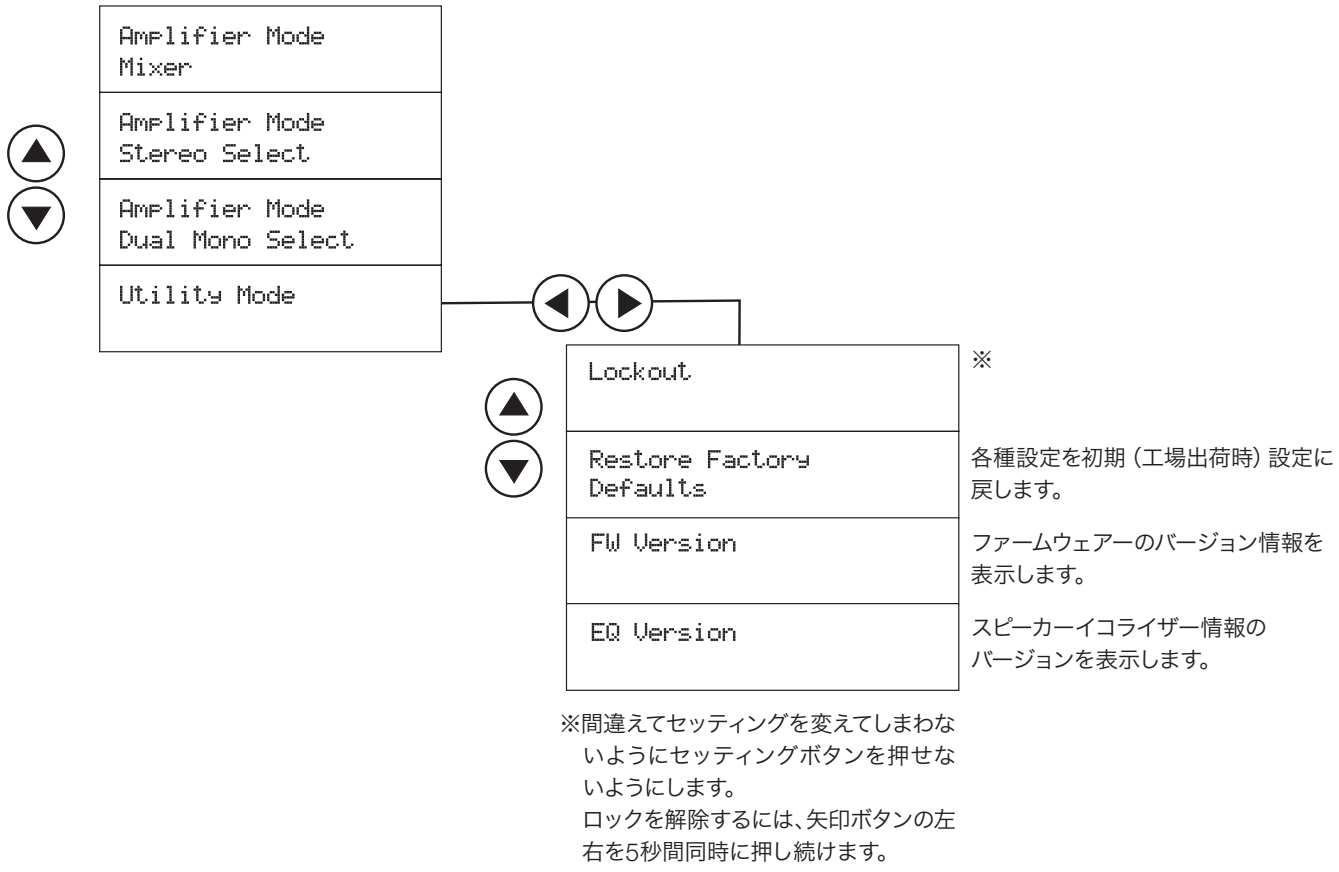
- ユーザーの不用意な操作でむやみに設定が変更されないよう設定内容をロック
- 各種設定内容を全て工場出荷時の初期状態に戻す（工場出荷時の内容は37ページ参照）
- システムのファームウェアーバージョンチェック
- スピーカーイコライザー情報のバージョンチェック

設定内容のロックと初期化

ロック機能：Lockout が完了すると、以降どのボタンを押してもロックが有効となります。Lockout を解除するには、前面カバー内の左右矢印ボタンを同時に5 秒間長押しします。

初期化：　DXA2120 の各種設定内容を全て工場出荷時の初期状態に戻したい場合は、以下の流れで設定を行います。
「Utility Mode」→「Restore Factory Defaults」→Select ボタンを2回押す→初期化完了

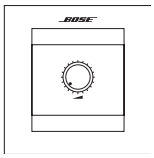
ユーティリティーモードの選択



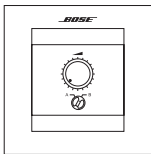
※間違えてセッティングを変えてしまわないようにセッティングボタンを押せないようにします。
ロックを解除するには、矢印ボタンの左右を5秒間同時に押し続けます。

専用ボリュームコントローラーDXA VC、DXA VC-AB (別売) について

ボリュームコントローラーを使用することで、DXA2120本体から離れた場所でも音量調整や入力ソースの切替を行うことができます。



DXA VC
(DXA Volume Control User interface)音量調整のみが必要な場合に使用します。



DXA VC-AB
(DXA Volume Control with A/B Select User interface)音量調整と2系統の入力切替が可能です。主にステレオセレクトモード (Stereo Select Mode) とデュアルモノセレクトモード (Dual Mono Select Mode)で使用します。

※ゲイン調整つまみの操作について
DXA VC、DXA VC-ABの専用ボリュームコントローラー使用時は、本体前面のゲイン調整つまみ (OUTPUT 1 GAIN、OUTPUT 2 GAIN) は無効となります。ボリューム操作はDXA VC、DXA VC-AB側で行います。

ミキサーモード (Mixer Mode)

1つのゾーンで4系統までの複数の音源をミックスして再生したい時にこのモードを選びます。ミキサーモードでは、INPUT1〜4の入力チャンネルをミックスして、OUTPUT1〜2の各出力チャンネルへ割り当てます。本体前面の各入力ゲイン調整つまみでINPUT1〜4それぞれの入力ゲインを個別に調整できるだけでなく、専用ボリュームコントローラー (DXA VC) を使うことで、音量調整もリモート操作で行うことができます。

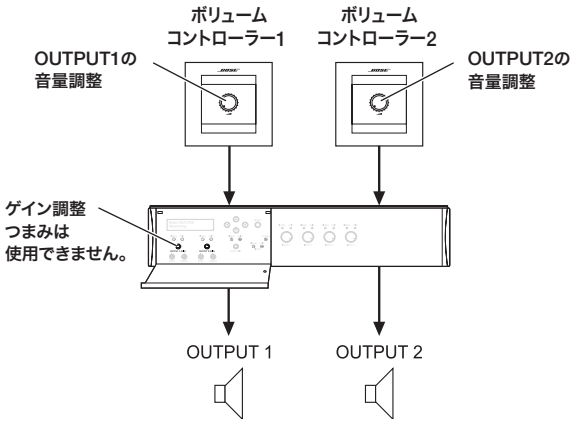
ステレオセレクトモード (Stereo Select Mode)

1つのゾーンで2系統のステレオ機器から1つを選んでステレオ再生したい時に選びます。入力切替機能付専用ボリュームコントローラー (DXA VC-AB) を使うことで、マスターボリュームのリモート調整だけでなく、2系統のソース切替も可能です。

デュアルモノセレクトモード (Dual Mono Select Mode)

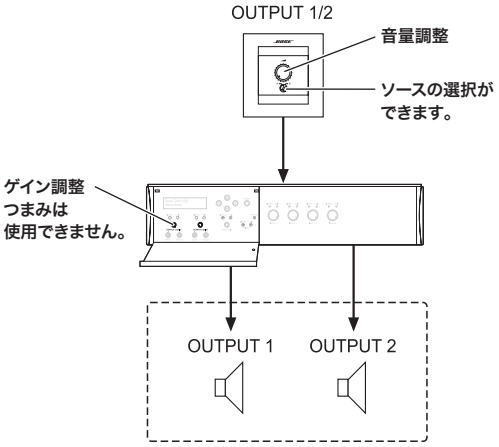
2つのゾーンで、それぞれ2系統の音源を選んで再生したい時に選びます。INPUT1〜2の入力チャンネルをOUTPUT1に割り当て、INPUT3〜4の入力チャンネルをOUTPUT2に割り当てます。ゾーン1、2にそれぞれ入力切替機能付専用ボリュームコントローラー (DXA VC-AB)を使うことで、ゾーン毎に独立したマスターボリュームのリモート調整と2系統のソース切替が可能になります。

●ミキサーモード時のボリュームコントローラーの使い方

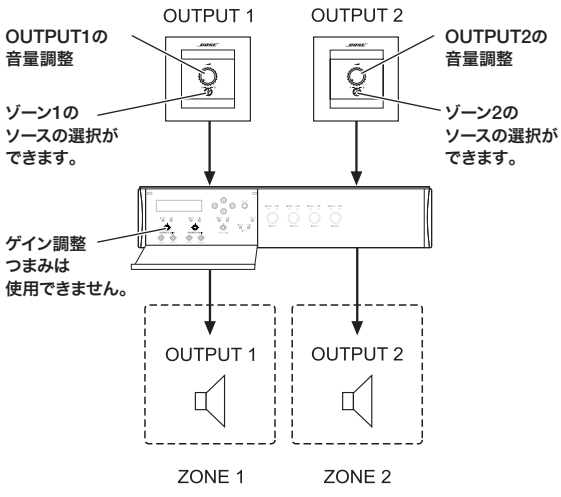


※マスターボリューム設定を行うと、OUTPUT1 GAIN調整つまみの調整だけでOUTPUT1/2両方の音量調整を連動させることができます。

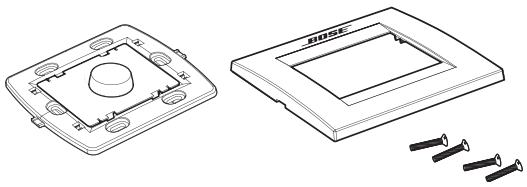
●ステレオセレクトモード時のボリュームコントローラーの使い方



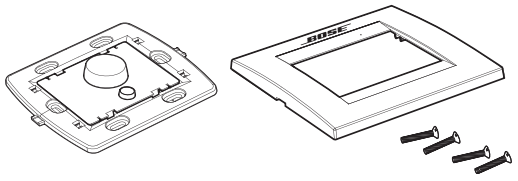
●デュアルモノセレクトモード時のボリュームコントローラーの使い方



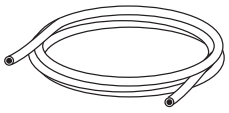
専用ボリュームコントローラー (DXA VC)
音量調整のみが必要な場合に使用します。



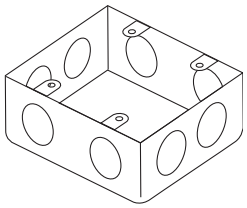
入力切替機能付専用ボリュームコントローラー (DXA VC-AB)
音量調整と2系統の入力切替が可能です。
主にステレオセレクトモード (Stereo Select Mode) とデュアルモノセレクトモード (DualMono Select Mode) で使用します。



別売専用ボリュームコントローラー以外に用意するもの

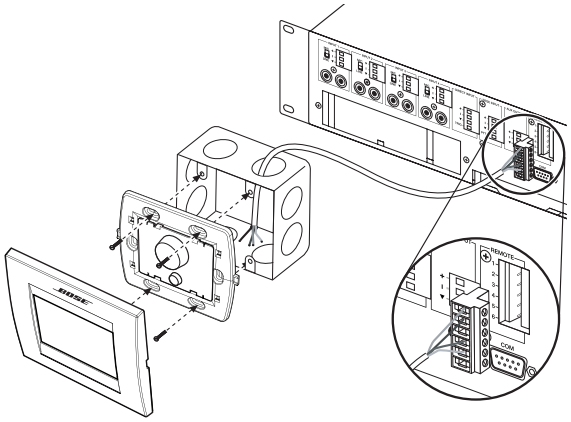


ケーブル
DXA2120本体とDXA VC、DXA VC-ABを接続する際の推奨ケーブル0.34～0.25mm^2 (もしくはAWG22～24相当) のツイストペアケーブルを使用してください。
カテゴリー 5(通称CAT-5) 規格に適合するLANケーブルをお勧めします。



ダブルギャングボックス
設置現場の状況や必要に応じ、市販のダブルギャングボックスなども使用できます。

専用ボリュームコントローラの結線について



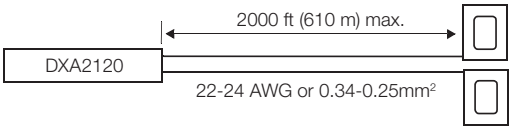
DXA2120背面のREMOTE端子 (ユーロブロック) と、DXA VC、DXA VC-AB背面のスクリューターミナル部を、CAT-5ケーブルなどで接続します。

接続ケーブルについて

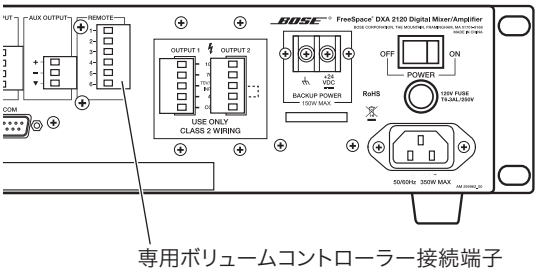
0.34～0.25mm^2 (もしくはAWG22～24相当) のツイストペアケーブル使用時の本機と専用ボリュームコントローラーまでの最長距離は610mです。

専用ボリュームコントローラー1台の場合

専用ボリュームコントローラー2台の場合



専用ボリュームコントローラーからのケーブルは付属の6端子ユーロブロックコネクターに接続して、本機背面のREMOTEジャックにとりつけます。

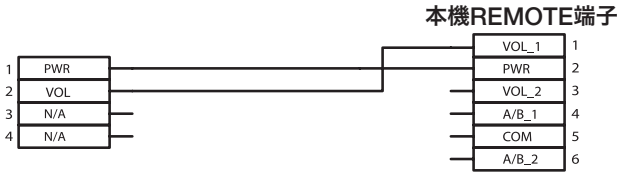


専用ボリュームコントローラー接続端子

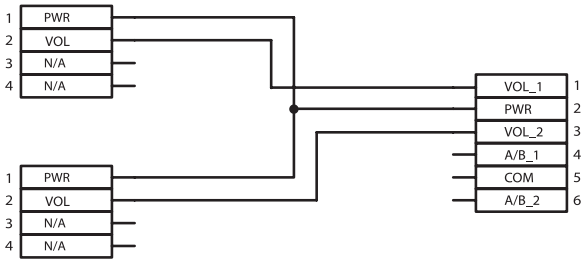
0.34～0.25mm^2 (もしくはAWG22～24相当) のツイストペアケーブルは専用ボリュームコントローラーと本機の接続以外に使用しないでください。

6端子ユーロブロックコネクターへの結線

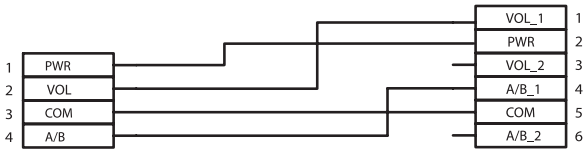
●専用ボリュームコントローラー1台の場合



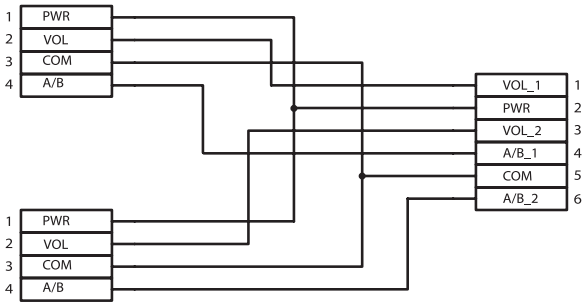
●専用ボリュームコントローラー2台の場合



●入力切替機能付専用ボリュームコントローラー1台の場合



●入力切替機能付専用ボリュームコントローラー2台の場合



Troubleshooting

故障かなと思ったら？

修理に出す前に本取扱説明書と下記の表にしたがってチェックしてみてください。チェックしてもなお症状が改善されない場合は、お買上げになった販売店かボーズ株式会社 カスタマーサービス (36ページを参照) までご連絡ください。

問　　題	原　　因
音がでない／電源が入らない (通常このような症状は、電源コードかアンプの電源部に問題があります)	・アンプの電源が入っていない場合はスイッチを入れる。 ・ラインケーブルが接続されていない場合は正しく接続する。 ・電源のコンセントや、入出力端子部分の接触不良の場合は別のコネクターやコンセントで試してみる。 ・コンセントに電源が来ているかどうかテスターやランプなどでチェックする。 ・本体のヒューズが切れているならばヒューズを交換する。
電源は入るが出力レベルが小さい／出力がでない (通常このような症状は、信号かケーブルもしくは機器内部の部分的な回路の短絡に起因しています)	・シグナルインジケーターが緑に点灯していることを確認する。 ・入力レベルの設定が低すぎるようならば設定し直す。 ・ソースの方に問題がないかチェックする。本機の入力端子につながっているプラグを別の問題がないことの確認されているパワーアンプにつなぎ直してみる。 ・他のケーブルよりも細いケーブルを使用していないかどうかチェックする。 ・スピーカーに間違いなく接続されているかチェックする。 ・アンプを動作限界付近で使用している場合は、アンプに供給されている電源電圧が下がっていないかどうか電圧計などでチェックする。
再生時にノイズがでる	・ケーブルに不具合がないか調べる (交換してみる) 。 ・すべてのネジ部分が確実にしまっているかどうかチェックする。 ・信号ケーブルが電源ケーブル、電源トランス、モーターその他ノイズを発生するものに近接したりしていないかチェックする。 ・パワーアンプに別の音源を接続してみてノイズが止った場合は、つなぎ変える前の機器に問題があると考えられる。
音が歪む (通常このような症状は、ミキサー、イコライザー、クロスオーバーネットワークなどの機器が十分な出力を供給できていないか、出力の上げ過ぎでクリップしているか、もしくは、スピーカーのインピーダンスが低すぎて電流リミッターが働いているなどの原因によって発生します)	・レベル設定が低すぎると信号が途中で減衰して十分な出力が得られなくなるので、入力GAIN調整つまみをチェックする。 ・スピーカーの接続をチェックし、ネジ類は確実にしめこまれていることを確認する。さらに、使用していないケーブルや余っているケーブルはショートなどの原因になるので取り除く。 ・最終的にアンプにかかる負荷が正しくなっているかを確認する。 ・INPUT CLIPインジケーターが点灯していないか確認する。点灯している場合はソースの出力レベルあるいは本機の入力ゲインを下げてみる。 ・OUTPUT CLIPインジケーターを確認する。点灯している場合は出力ゲインを下げてみる。 ・インプットインジケーター、アウトプットインジケーターに問題がない場合は、スピーカーの耐入力が低すぎるものを使用していないか、スピーカーが破損していないか確認する。
不自然な音 (周波数帯域のある帯域が他の帯域とバランスがとれていない状態)	・イコライザーの設定を調べる。 使用しているスピーカーに適合しているイコライザーを使用しているかを調べる。 ・スピーカーコードの極性を確認する。
ボリュームコントローラーが正しく動かない。	・ボリュームコントローラーと本機が正しく接続されているか確認する。 ・2ゾーンで使用している場合、ボリュームコントローラーが正しく操作したいゾーンに接続されているか確認する。 ・ケーブルが破損、内部で短絡していないか確認する。 ・使用しているモードと接続しているボリュームコントローラが適合しているか確認する。

仕　様

定格出力	120W+120W (4Ω)、 100W+100W (70V/100V) ユーロブロック
全高調波歪率	0.5%以下
クロストーク	–60dBV以下
周波数特性	40Hz～16kHz　(+0/–3dB)
SN比	75dB
サンプリングレート	44.1kHz
AD/DAコンバータ	24bit

・マイク/ライン入力×4系統 (INPUT1～4)
ユーロブロック (バランス、マイク/ラインレベル切替式)
入力インピーダンス : Mic2kΩ/Line25kΩ
最大入力レベル : Mic–20dBu/Line+10dBu
RCAピンジャック (アンバランス、モノミックス)
入力インピーダンス : 10kΩ
最大入力レベル : +10dBu

・ページ入力×1系統 (PAGE INPUT)
ユーロブロック (バランス)
入力インピーダンス : 400Ω
最大入力レベル : –30dBu

・ダイレクト入力×1系統 (DIRECT INPUT)
ユーロブロック (バランス)
入力インピーダンス : 18kΩ
最大入力レベル : +8dBu

・AUX出力×1系統 (AUX OUTPUT)
ユーロブロック (バランス)
出力インピーダンス : 400Ω
最大出力レベル : 2.2dBV

電源電圧	AC100V (50/60Hz)
消費電力	350W (最大) 、39W (無信号時)
外形寸法	421 (W) ×90 (H) ×352 (D) mm (本体のみ、ラックマウント金具除く)
質量	14.4kg
付属品	AC電源コード、ラックマウント金具一式、ゴム足×4、ユーロブロックコネクター一式

Reference

保　証

保証の内容および条件は、付属の保証書をご覧ください。

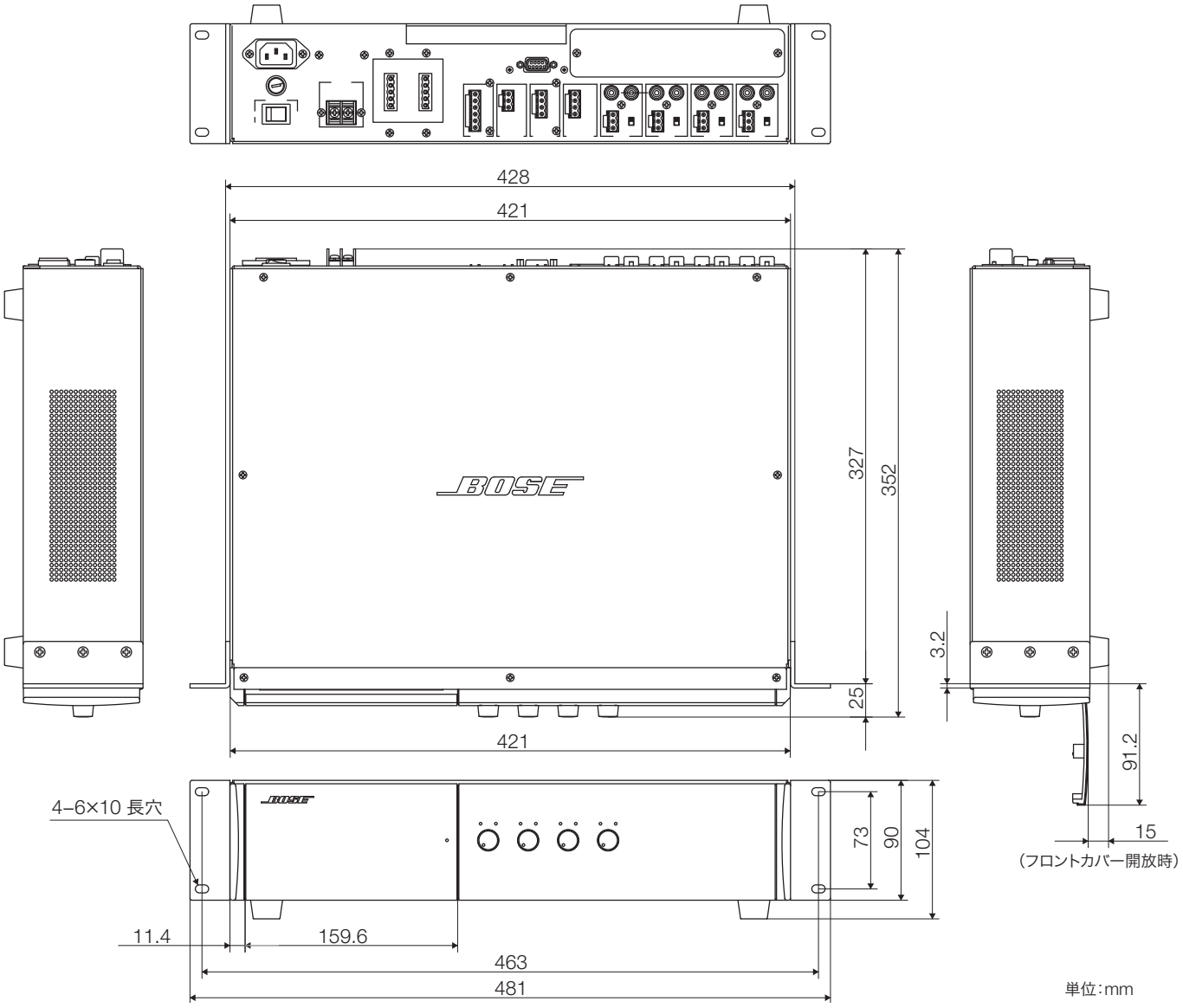
修理について

もし、修理等が発生した場合は、お買上げになったお店または、ボーズ株式会社 カスタマーサービスまでご連絡ください。

故障、修理、製品等のお問い合わせ先
ボーズ株式会社　カスタマーサービス
お客様専用ナビダイヤル 0570−080−021

修理品のお送り先
ボーズ株式会社　サービスセンター
〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル
※修理品をご送付いただく際の電話番号は、上記ナビダイヤルをご記入ください

寸法図



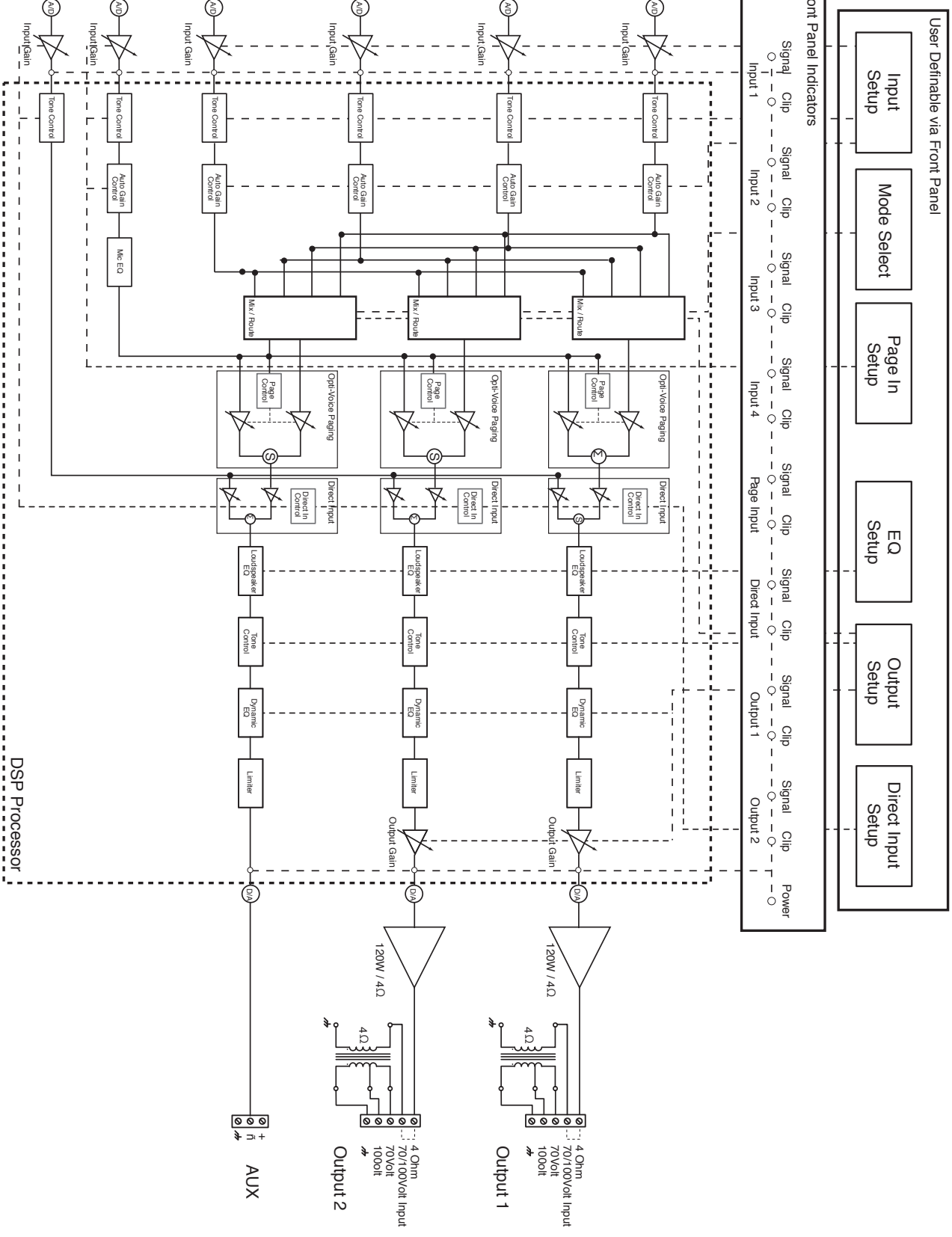
単位：mm

Appendix

初期（工場出荷時）設定

チャンネル	パラメーター	ミキサーモード	ステレオセレクトモード	デュアルモノセレクトモード	調整可能範囲
Input 1	Bass	0 dB	0 dB	0 dB	-6 dB ～ +6 dB
	Treble	0 dB	0 dB	0 dB	-6 dB ～ +6 dB
	AGC Enable	N	N	N	
Input 2	Bass	0 dB	0 dB	0 dB	-6 dB ～ +6 dB
	Treble	0 dB	0 dB	0 dB	-6 dB ～ +6 dB
	AGC Enable	N	N	N	
Input 3	Bass	0 dB	0 dB	0 dB	-6 dB ～ +6 dB
	Treble	0 dB	0 dB	0 dB	-6 dB ～ +6 dB
	AGC Enable	N	N	N	
Input 4	Bass	0 dB	0 dB	0 dB	-6 dB ～ +6 dB
	Treble	0 dB		0 dB	-6 dB ～ +6 dB
	AGC Enable	N	N	N	
Page Input	Bass	0 dB	0 dB	0 dB	-6 dB ～ +6 dB
	Treble	0 dB	0 dB	0 dB	-6 dB ～ +6 dB
	Trigger Mode	PTT	PTT	PTT	
	Page Ducking	-20 dB		-20 dB	-50 dB ～ 0 dB
Direct Input	Volume	0 dB	0 dB	0 dB	-40 dB ～ +10 dB
	Bass	0 dB	0 dB	0 dB	-6 dB ～ +6 dB
	Treble	0 dB	0 dB	0 dB	-6 dB ～ +6 dB
Miscellaneous	Master Volume Linked	N	n/a	n/a	
Output 1	*Out 1/2 Input Sel (Stereo only)	n/a	*1/2 (1)	n/a	
	Out 1 Input Sel (Dual Mono only)	n/a	n/a	1	
	Input Mix - Input 1 (Mixer only)	Y	n/a	n/a	
	Input Mix - Input 2 (Mixer only)	N	n/a	n/a	
	Input Mix - Input 3 (Mixer only)	N	n/a	n/a	
	Input Mix - Input 4 (Mixer only)	N	n/a	n/a	
	Spkr EQ Preset	01 80 Hz HPF	01 80 Hz HPF	01 80 Hz HPF	
	Dynamic EQ Enable	N	N	N	
	Page Enable	N	N	N	
	Page Level	0 dB	0 dB	0 dB	-20 dB ～ +20 dB
Output 2	*Out 1/2 Input Sel (Stereo only)	n/a	*1/2 (2)	n/a	
	Out 2 Input Sel (Dual Mono only)	n/a	n/a	3	
	Input Mix - Input 1 (Mixer only)	Y	n/a	n/a	
	Input Mix - Input 2 (Mixer only)	N	n/a	n/a	
	Input Mix - Input 3 (Mixer only)	N	n/a	n/a	
	Input Mix - Input 4 (Mixer only)	N	n/a	n/a	
	Spkr EQ Preset	01 80 Hz HPF	01 80 Hz HPF	01 80 Hz HPF	
	Dynamic EQ Enable	N	N	N	
	Page Enable	N	N	N	
	Page Level	0 dB	0 dB	0 dB	-20 dB ～ +20 dB
Auxout	Auxout Input Sel(Stereo/Dual Mono)	n/a	1+2 sum	1 Fixed	
	Auxout Input Mix - Input 1(Mixer only)	Y	n/a	n/a	
	Auxout Input Mix - Input 2(Mixer only)	N	n/a	n/a	
	Auxout Input Mix - Input 3(Mixer only)	N	n/a	n/a	
	Auxout Input Mix - Input 4(Mixer only)	N	n/a	n/a	
	Spkr EQ Preset	01 80 Hz HPF	01 80 Hz HPF	01 80 Hz HPF	
	Dynamic EQ Enable	N	N	N	
	Page Enable	N	N	N	
	Page Level	0 dB	0 dB	0 dB	-20 dB ～ +20 dB

Appendix


User Definable via Front Panel
Input Setup
Mode Select
Page In Setup
EQ Setup
Output Setup
Direct Input Setup
Front Panel Indicators
Signal
Clip
Input 1
Input 2
Input 3
Input 4
Page Input
Direct Input
Output 1
Output 2
Power
Input 1
Input 2
Input 3
Input 4
Page
Direct
Mic
+36 dB
Line
+7 dB
+40 dB
+0 dB
PTT
A/D
Input Gain
Tone Control
Auto Gain Control
Mic EQ
Mix / Route
Opti-Voice Paging
Page Control
Direct Input
Direct In Control
Loudspeaker EQ
Dynamic EQ
Limiter
Output Gain
D/A
DSP Processor
120W / 4Ω
4Ω
4 Ohm
70/100Volt Input
70Volt
100olt
Output 1
Output 2
AUX

Appendix

BOSEスピーカーEQリスト（EQバージョン：V1.3.00.J）

EQ List	
80 Hz HPF	M16P *
60 Hz HPF	FS3 I
50 Hz HPF	FS3 II
40 Hz HPF	FS3 II P *
DS16S	FS3 55Hz HPF
DS16SE	FS3 80Hz HPF
DS16F	FS3 B
DS16FP *	302A
DS40SE	FS 203
DS40F	FS 360P
DS40FP*	402 II
DS100SE	502A
DS100F	MA12
DS100FP *	MA12 EX
M32	BOSE 101HI
M32SE	BOSE 101TR
102F	BOSE 111TR
M8	BOSE 175TR
M16	BOSE TR-11

* ペンダントマウントキット使用時

ボーズ株式会社　http://www.bose.co.jp/
〒150-0036　東京都渋谷区南平台町16 -17 渋谷ガーデンタワー 5階

BOSE
Better sound through research

● 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
● 弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

OM-1378-G
14・02（B）